取扱説明書

SANYO

フレームスイッチャー機能付き
ハードディスクデジタルレコーダー
品番 VDH-M4040

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。

- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

はじめに

安全上のご注意 2
安全のため必ずお守りください 2
正しくご使用いただくために必ずお守りください 6
主な特長 7
主要部品の交換時期 7
付属品 7
各部の名称とはたらき 9
各部のなまえと接続 10
基本接続 10
ネットワークの接続（ETHERNET） 11

使いかた

操作前の準備 12
画面表示 12
A テレビ方式とモニター出力の設定 13
B 日時の設定 13
C 表示言語の設定 15
カメラ映像の監視 16
A 1画面表示 16
B 4画面表示 16
C カメラ自動切換 16
PTZカメラの操作 17
1 接続 17
2 設定 17
3 操作 17
録画 18
A リアルタイム録画 18
B 常時記録 19
C モーション記録 19
D 外部センサー録画 20
E タイマー記録 21
録画した映像の再生 23
A イベントサーチ 24
B タイムバーサーチ 25
C 日時サーチ 25
D 記録開始サーチ 25
E 記録エンドサーチ 26
F ログリスト 26
G ブックマークリスト 26
録画映像をUSBメモリにコピーする 27
A ライブ映像のマークとコピー 27
B 再生映像のマークとコピー 28
C コピー映像の再生 28

設定のしかた

メニュー設定の構成と働き 29
メインメニューの基本操作 30
画面設定 31
A 画面表示、データ表示コントラストの設定 31
B 画面自動切換、画面自動切換周期の設定 31
C ブザーの設定 31
D チャンネルの設定 32
E VGAサイズの設定 32
F アラーム出力選択の設定 32
記録設定 33
A 解像度の設定 33
B チャンネルの設定 33
C タイマー設定 34
管理者用設定 35
A DVR IDの設定 35
B システム情報の確認 35
C 工場出荷時に戻す 35
D 管理者パスワードの設定 36
E ネットワークパスワードの設定 37

設定のしかた

F 日付の形式の設定 37
G 時刻設定 37
H カメラコントロール設定 37
I 言語設定 37
J リモコンIDの設定 38
ネットワーク設定 39
A ポートの設定 39
B ネットワーク操作の設定 39
C ネットワークスピードの設定 39
D ネットワークタイプの設定 40
E DDNSの設定 41
F メール設定 42
ハードディスク設定 43
A 上書き記録の設定 43
B HDD初期化設定 43
サービス設定 44
A USBメモリからファームアップの設定 44
B メニューをUSBメモリにセーブする 44
C メニューをUSBメモリからロードする 44

ネットワークでの使いかた

ネットワークで操作するには 45
接続と設定 45
動作環境 45
“Sanyo DVR Utility 2000S” のインストール 45
アンインストールするには 46
本機に接続する 47
メイン画面の構成と各部のはたらき 48
操作パネルの機能 49
メイン画面の基本操作 50
A 画面の表示方法を切り換える 50
B ライブ映像を録画する 51
C ライブ映像を静止画像にする 51
D 音声を出力する 51
E 画像イメージを保存する 52
F PTZカメラを操作する 52
サーチモードでの操作 53
A 録画した映像を検索して再生する 54
B DVRの録画映像をバックアップする 55
セットアップメニューの設定 56
A 一般設定 56
B カメラ名称設定（接続先） 57
C イベント 58
D イベントログの検索、閲覧、保存（ログ検索） 58
E 記録設定 59
F 記録保存設定 59
G バージョン情報 59
リモートセットアップ 60
A リモートセットアップの操作手順 60
B 画面設定 61
C 記録設定 62
D 管理者用設定 64
E システム情報 65
F カメラコントロール設定 65
G ネットワーク設定 65
H メール設定 66
I ハードディスク設定 66

その他

リモコンの各部のなまえと働き 67
記録時間一覧表 68
仕様 69
故障かな？と思われたとき 70
アフターサービスについて 71

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この**安全上のご注意**は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■電源コードを傷つけない

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。
  電源コードが傷み、火災、感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店または工事店に交換をご依頼ください。

■電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。

■電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。こえると発熱により、火災の原因となります。

■分解したり、改造しない

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

⚠警告

■ 内部に異物を入れない

- 通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ ぬらさない

- 本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
  風呂場、シャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ 不安定な場所に設置しない

- 落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。

⚠警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

⚠注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。

■ ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。

■ 搬送・持ち運びについて

- 通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。
- 搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。

⚠注意

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

- 本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
  本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。

- 上下間は1cm以上の隙間を開ける
- 左右は5cm以上を開ける
- ラック後面と壁面間は10cm以上開ける

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

- 急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光が当たる場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 常に振動のある場所や車や列車など

■ 露つき（結露）のご注意

よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、本体内部にも水滴がつくことがあります。このような状態を露つき（結露）といいます。

結露状態では動作させない

結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。急激な温度変化があった場合は、電源を切り、設置場所の温度が安定（約2時間）するまで待ってから動作させてください。

露つきが起こりそうなときは・・・

本機の電源を切って、1～2時間放置してからご使用ください。

付属のACアダプターについて

⚠危険

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

⚠警告

■ 付属のACアダプター以外は使用しない

付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■ 他の機器に接続しない

付属のACアダプターは本機専用です。火災、感電の原因となりますので他の機器には接続しないでください。

■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤ってACアダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

■ ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となります。

付属のACアダプターについて

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、ACアダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

■ ACアダプターとコンセントの注意

- **コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない**
- **ACアダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する**
- **ACアダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない**
  不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
- **ACアダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない**
  差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
- **ACアダプターをコンセントに差し込んだまま、本機のDC入力端子からDCプラグを抜いた状態にしない**
  ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
- **ACアダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない**
  ほこりなどにより、ショートや発熱が起こり火災の原因になります。
  特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
  ほこりの清掃
  ACアダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- **コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと**
  定格電力を超えると火災の原因になります。

⚠注意

■ コード類は正しく接続する

ACアダプターのコードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

■ コードを傷つけない

ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

■ 不安定な場所に置かない

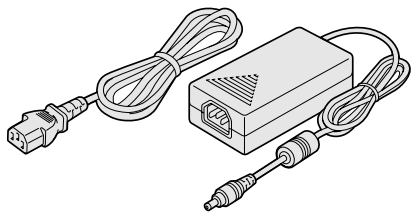
- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。

⚠警告

付属の電源コード／ACアダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ バックアップバッテリーについて

- 本機には、時計機能のバックアップ用にリチウムバッテリーが内蔵されています。停電などで電源が切れた場合は、バッテリーによって時計が動作します。
- バッテリーの寿命は約2年です。バッテリーが切れたり液漏れなどが発生すると、電源が切れたときに設定時刻がリセットされます。電源を入れたとき（あるいはリブート時）に、モニター画面にバッテリー交換の警告メッセージが表示されますので、お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。

バッテリーの液漏れ処置について

万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗ってから、医師にご相談ください。

本機を処分される場合は

リチウムバッテリーの処理方法もお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、**必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。**録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 著作権について

- 本書およびソフトウェアは三洋電機株式会社の著作物です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorerは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。
- IntelならびにPentiumは、Intel Corporationとその系列会社の米国およびその他の国における登録商標もしくは商標です。
- 本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

著作権を有する映像などを記録する際は、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

主な特長

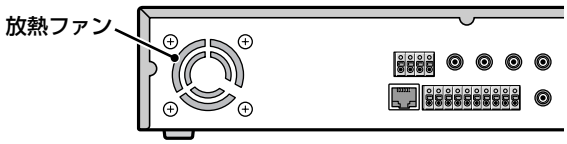
- MPEG4による長時間記録
- 4画面でも動画でモニター可能
- 最大録画スピード120 IPS
- 音声4ch記録対応
- USBメモリへの画像ダウンロード
- 本機をネットワーク経由でパソコンから操作可能
- VGA映像出力
- リモコンとDVRユーティリティーソフトウエア付属

主要部品の交換時期

本機を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ **ハードディスク**：2年（周囲温度25℃）
使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が2年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ **放熱ファン**：3年（周囲温度25℃）
ファンが正常に動作しなくなると、内部温度が上昇し、ハードディスクが不具合となる原因になります。時々、放熱ファンが正常に動作しているか（止まっていたり異音がしていないか）を確認してください。

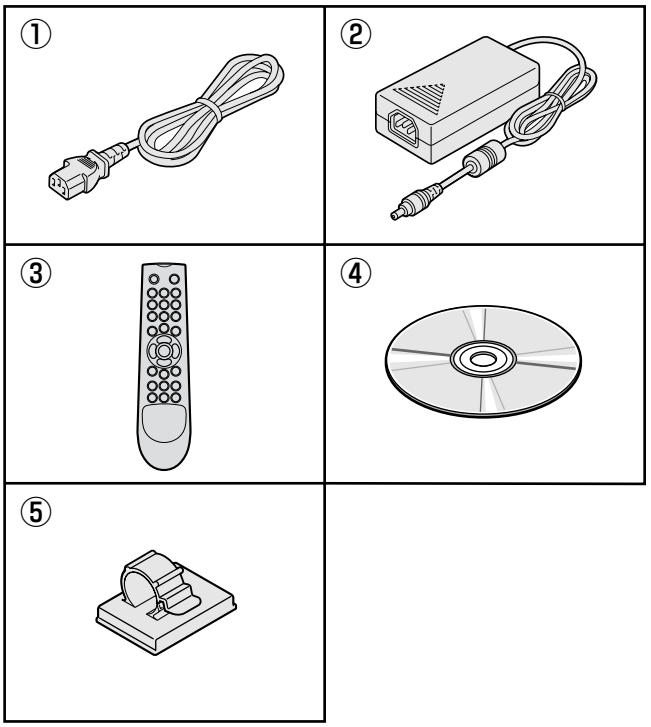


■ **電池（バックアップリチウムバッテリー）**：
2年（周囲温度25℃）

付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

①電源コード
②ACアダプター
③リモコン（電池は付属していません。単4×2使用）
④クライアントCD-ROM
⑤電源用ワイヤークランプ（P10）
- 取扱説明書（本書）



⚠警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

□ **本機は横置き型です。絶対に縦置きはしない**

□ **通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない**

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

□ **録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない**

□ **電源を切ってから約30秒間は動かさない**

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

□ **衝撃や振動を与えない**

本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの4箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

□ **搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること**

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

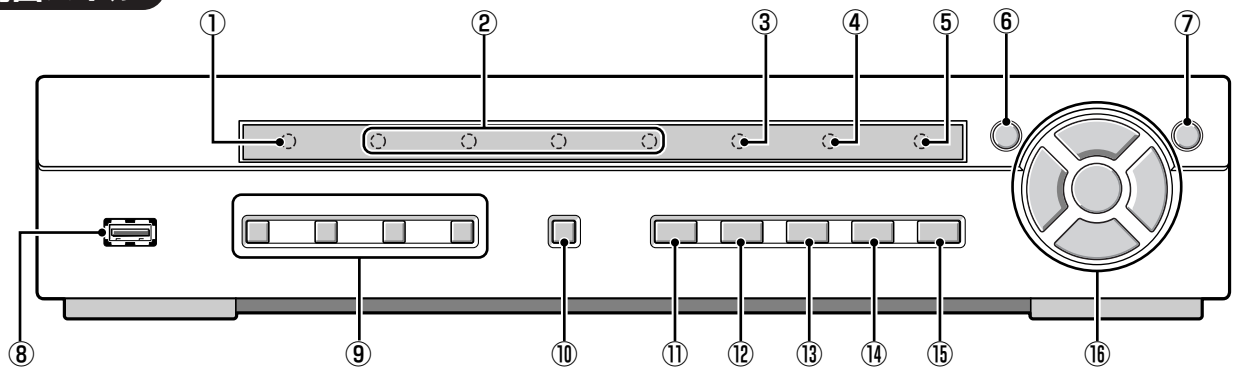
ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ハードディスクは静電気に弱いため、必ず静電対策をおこなってください。
- 梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてください。交換後はしっかりとネジを締め付けてください。

各部の名称とはたらき

本機には電源スイッチはありません。

前面パネル



①電源ランプ
付属のACアダプタを接続するとランプが点灯します。

②録画チャンネルランプ（CH1/CH2/CH3/CH4）
録画中のチャンネルが点灯します。

③LANランプ
本機がLANによって接続使用されていると点灯します。

④アラームランプ
アラーム録画中、またはアラーム出力中に点灯します。

⑤HDDランプ
ハードディスクへのアクセス中に点灯します。

⑥メニューボタン（P30）
設定メニュー画面を表示し、設定モードに入ります。

⑦終了/再生停止ボタン（P19）
設定中：前画面に戻ります。
再生中：再生を停止します。

⑧USB端子（2.0限定）（P27）
USBメモリを接続してください。
映像を保存することができます。

⑨カメラチャンネル選択1-4ボタン（P13）
それぞれのカメラ映像が１画面で表示されます。
パスワードの入力ボタンとしても使用します。

⑩録画/停止ボタン（P18）
モニター中のライブ映像の録画を開始/停止します。

⑪カメラ自動切換ボタン（P16）
各カメラ映像を自動切り換え表示します。

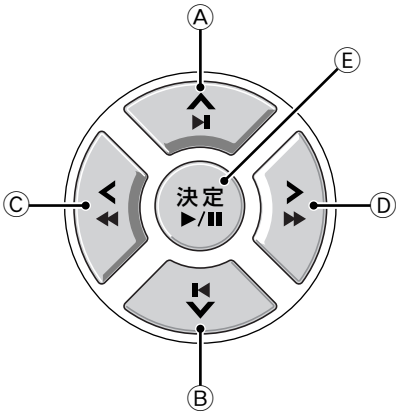
⑫4画面表示ボタン（P16）
4画面の表示になります。

⑬コピーボタン（P27）
映像を保存するモードになります。

⑭サーチボタン（P24）
録画した映像を検索するモードになります。

⑮カメラコントロールボタン（P17）
RS422/485端子に接続したPTZカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスを操作するモードになります。

⑯コントロールボタン



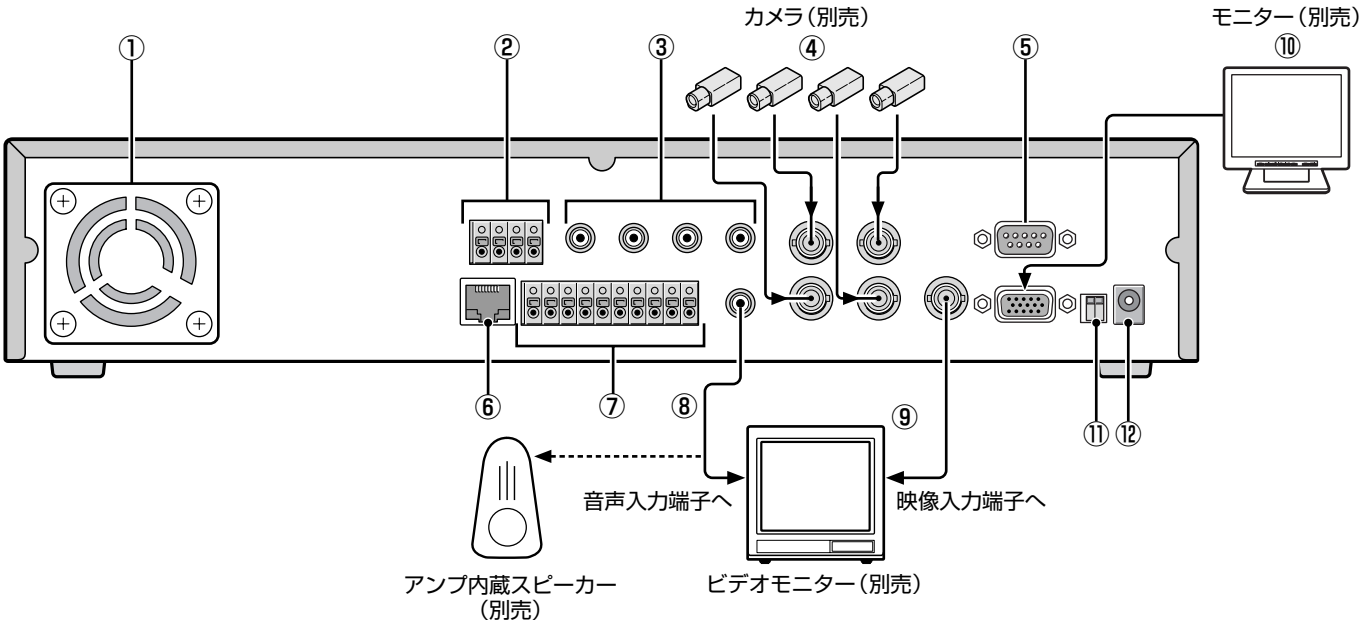
	再生中	設定中（カーソル操作）
Ⓐ	▶I ボタン： 1分先の映像にジャンプします。	∧： カーソルを上に動かします。
Ⓑ	I◀ ボタン： 1分前の映像にジャンプします。	∨： カーソルを下に動かします。
Ⓒ	◀◀ ボタン： 早戻しします。	＜： 設定値などを変更あるいはカーソルを左に動かします。
Ⓓ	▶▶ ボタン： 早送りします。	＞： 設定値などを変更あるいはカーソルを右に動かします。
Ⓔ	▶/II ボタン： 静止画を表示します。 検索中は選んだ映像を再生します。	決定： 選択した項目を確定あるいは設定画面に入ります。

各部のなまえと接続

後面パネル

基本接続

- すべての接続が完了するまで電源は入れないでください。各機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- 接続を誤ると発煙したり、故障の原因になることがありますので注意してください。
- ACアダプターのDCプラグは非常に抜けやすい構造となっています。本機を移動した場合は、プラグの抜けに注意してください。
- 屋外のカメラを接続する場合は接続ケーブルの遮蔽部分を必ず接地し、保護接地付きのコンセントに接続してください。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前におこなってください。
  又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してからおこなってください。



①放熱ファン（P7）

②カメラコントロール端子（RS-422/485）（P17）

③音声入力（AUDIO IN：CH1～CH4）

④映像入力端子（VIDEO IN：CH1～CH4）

⑤RS232端子（RS-232）
サービス専用です。

⑥ネットワーク端子（ETHERNET：P11）

⑦外部アラーム入力端子/アラーム出力端子
（SENSOR/ALARM：P20）

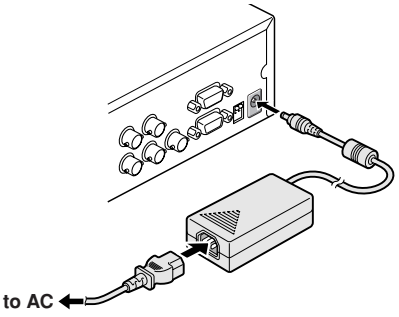
⑧音声出力端子（AUDIO OUT）

⑨映像出力端子（VIDEO OUT）

⑩VGA（Video Graphics Array）出力端子
パソコン用のVGAモニターを接続します。

⑪システム切換スイッチ（PAL/VGA：P13）

⑫DC12V入力端子（DC 12V）
図のように本機に電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。前面パネルの電源ランプが点灯します。



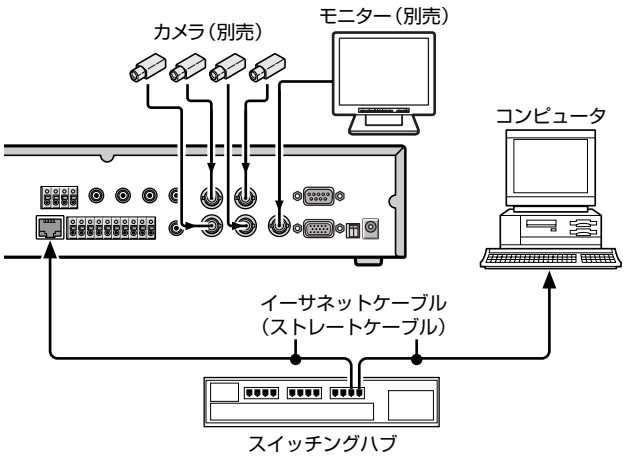
DCプラグはプラグの抜け防止のため付属の電源用ワイヤークランプで本体に固定してください。

ネットワークの接続（ETHERNET）

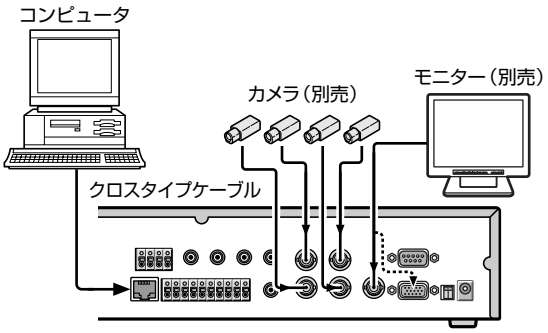
LAN接続

■ スイッチングハブを使用する場合

LANケーブルは10BASE-T/100BASE-TXカテゴリー5を使用してください。
ネットワーク制御をおこなうときは、イーサネットケーブルでスイッチングハブなどに接続します。

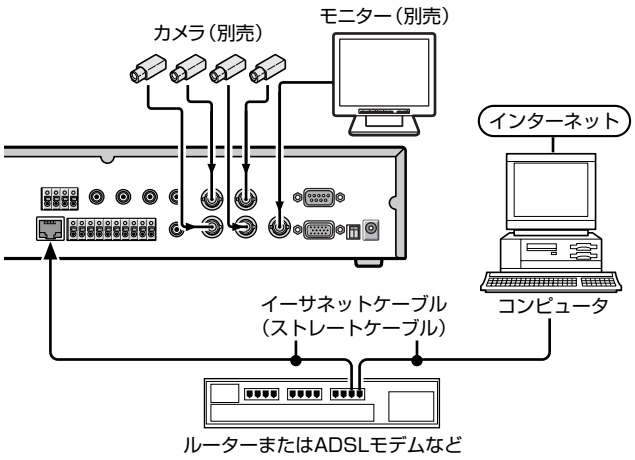


■ スイッチングハブを使用しない場合



インターネット（DHCP、ADSL）接続

ルーターなどを介してインターネットなどに接続します。
ADSLモデムや、その他の機器に接続する場合の接続方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



メモ NETWORK画面でネットワークタイプなどを設定する必要があります。（P39）

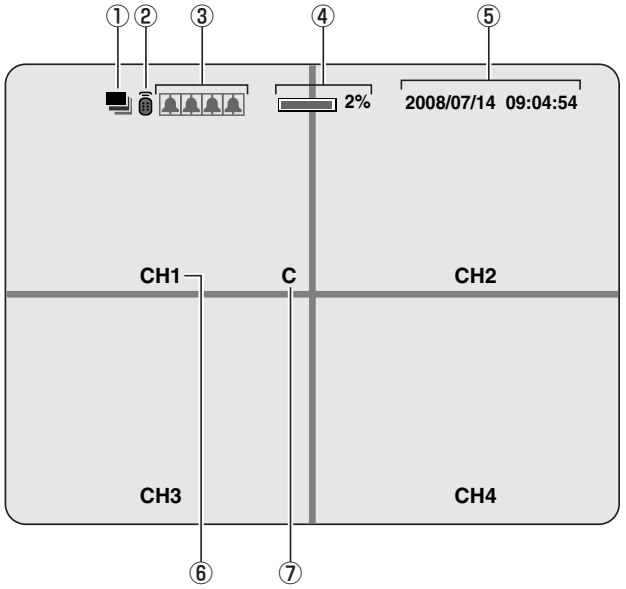
操作前の準備

画面表示

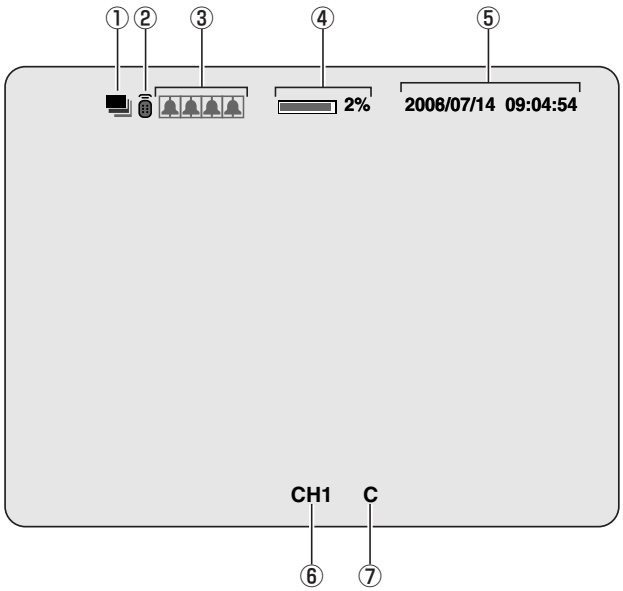
電源が入ると画面に **“初期化中…”** と表示後、ライブ映像が4画面で表示されます。画面上には操作に必要な画面表示が表示されます。

●画面表示は録画表示を除いて非表示にできます。(P31)

■4画面



■1画面



① 操作表示

：ライブ映像を自動切換え中に表示します。

：アラーム出力中に表示します。

：パソコンによる遠隔操作中に表示します。

② リモコン表示 (P38)

：この表示はリモコン操作ができることを意味します。リモコンのID番号の設定で、この表示が消えている場合は、リモコン操作はできなくなります。

③ アラーム入力表示

：
モーションあるいは外部アラームの入力中に赤色で点灯します。マークは左から1チャンネルです。

④ ハードディスク使用容量表示

ハードディスクの録画状態を0～99%で表示します。
容量がいっぱいになると **“99%”** から **“FULL”** に変わります。
上書き設定でハードディスクの容量がいっぱいになると、99%から に代わり、上書きの状態であることを表示します。

⑤ 日付時刻表示

本機は日付と時刻により録画映像を管理します。メニュー設定で必ず正しい日時を設定をしてください。(P13)

⑥ カメラチャンネル表示

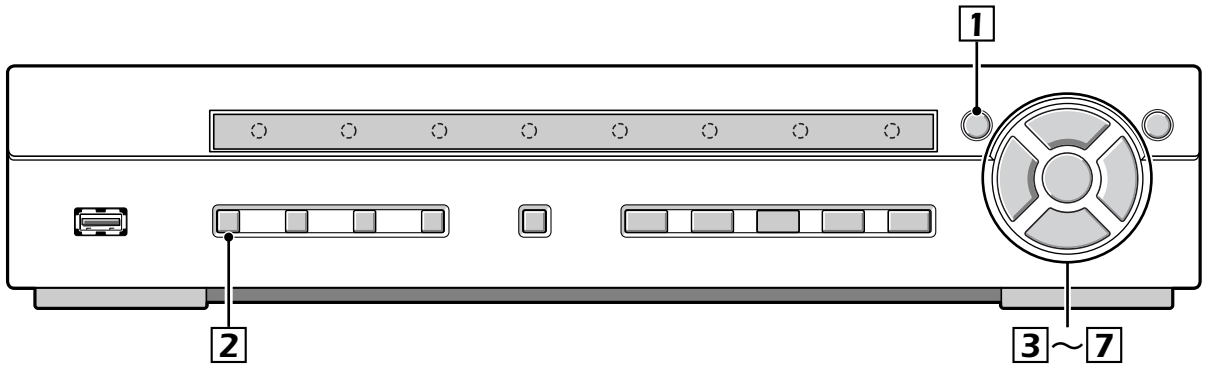
CH1/CH2/CH3/CH4

⑦ 録画表示

工場出荷時の設定では、電源を入れた時点で自動的に常時録画 (C) が始まります。そのほかの録画モードの切り換えは、メニュー設定でおこなってください。(P33)

C：常時録画中 (CONTINUOUS)
R：リアルタイム録画中 (録画/停止ボタンを押したとき)
M：モーション検知による録画中 (MOTION)
S：センサー検知による録画中 (ALARM)

- ライブ映像が途切れたときはモニターには **「VIDEO LOSS」** と表示します。(電源を入れ直すとVIDEO LOSSを消すことができます。)
- 電源を入れると映像入力端子に映像信号が接続されないときはモニターには **「NO VIDEO」** と表示します。



A テレビ方式とモニター出力の設定

接続するカメラのテレビ方式やモニターの種類が異なる場合は、ライブ映像を通常の画面で監視できません。接続する機器の仕様を確認し、後面のシステム切換スイッチを設定してください。
※設定は必ず電源を切ってください。

■ カメラのテレビ方式を合わす（PAL）

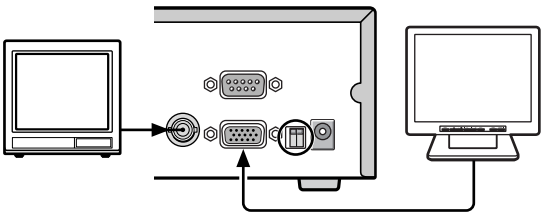
初期設定（NTSC）から変更しないでください。

上側（初期値）：NTSC方式のカメラを接続するとき
（日本のカメラは通常NTSCです）
下側：PAL方式のカメラを接続するとき

PALとNTSC方式のカメラを混在して使用できません。

■ モニターの種類を選択する（VGA）

上側（初期値）：映像出力端子に一般のモニターを接続するとき
下側：VGA端子にパソコン用のモニターを接続するとき

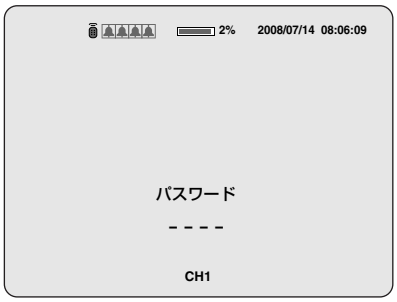


VGA出力端子と映像出力端子の両方を同時に使用できません。

B 日時の設定

1 メニューボタンを押す

パスワード入力画面が表示されます。

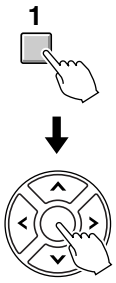


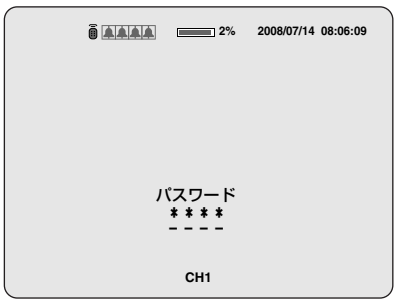
●終了/再生停止ボタンを押すと前画面に戻ります。

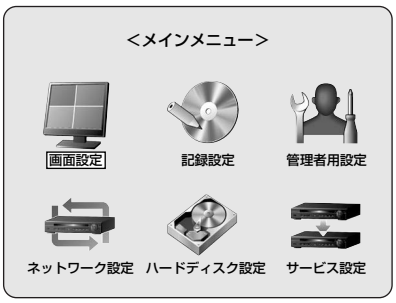
2 1ボタンを4回押して「1111」を入力し、決定ボタンを押す

<メインメニュー>画面が表示されます。

●「1111」は工場出荷時のパスワードです。不正使用を防ぐため、変更することをおすすめします。（P36）







3 コントロールボタン (>) ボタンを2回押して「管理者用設定」を選び、決定ボタンを押す

「管理者用設定」画面が表示されます。

4 コントロールボタン (∧∨) で「日付の形式」を選び、コントロールボタン (<>) で日付表示形式を選ぶ

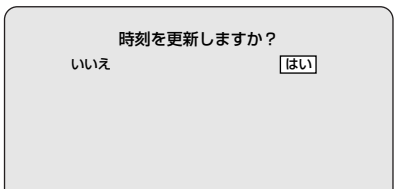
- YYYY/MM/DD (例：2008/04/15)
- YYYY-MM-DD (例：2008-04-15)
- MM/DD/YYYY
- MM-DD-YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD-MM-YYYY

5 コントロールボタン (∧∨) で「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す

「時刻設定」画面が表示されます。

6 コントロールボタン(<>)で項目位置を選択し、コントロールボタン (∧∨) で日時を設定し、決定ボタンを押す

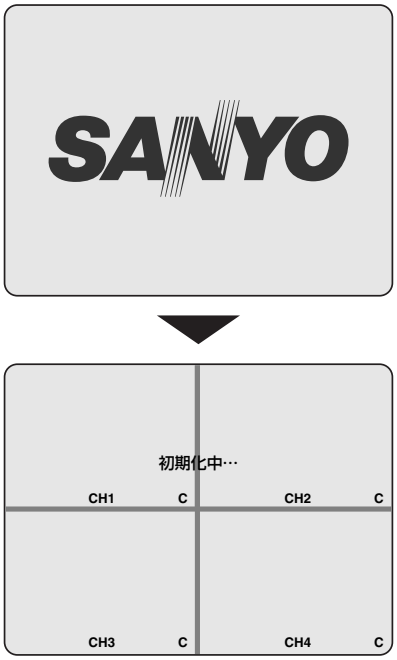
時刻更新画面が表示されます。



7 コントロールボタン (<>) で「はい」を選び、決定ボタンを押す

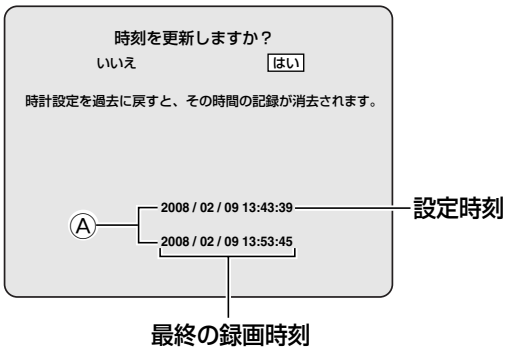
「SANYO」のロゴを表示してから「初期化中...」画面に切り換わります。

初期化が完了すると、ライブ映像の設定日時が更新されます。



■ 設定した時刻の修正

新しい時刻を最終録画時刻より前に設定すると、時刻更新の確認画面には消去される録画データ範囲Ⓐが表示されます。“はい”を選択すると設定時刻以降の録画データが消去されますので、選択する前に必ず確認してください。



C 表示言語の設定

1 「日時の設定」の **1** ～ **3** をおこなう

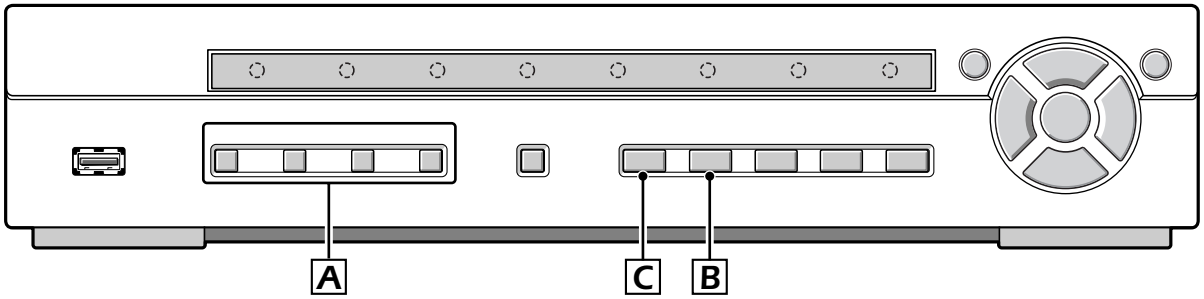
2 コントロールボタン（∧∨）で「言語設定」を選び、コントロールボタン（＜＞）で表示言語を選ぶ

言語を選んだ時点で、表示言語が変更されます。

言語選択：

ENGLISH、日本語、DEUTSCH、Français、ESPAÑOL、ITALIANO、Русскии язык、中文（繁體）、POLSKI、CESKY、Български език、Româna、Srpski、SVENSKA、THAI

カメラ映像の監視

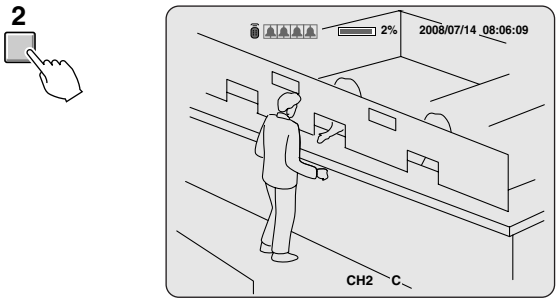


A 1画面表示

例：カメラ2を1画面表示

1 [カメラ選択]ボタンの「2」を押す

カメラ2の映像が1画面で表示されます。
音声入力がある場合は、そのチャンネルの音声が出力されます。

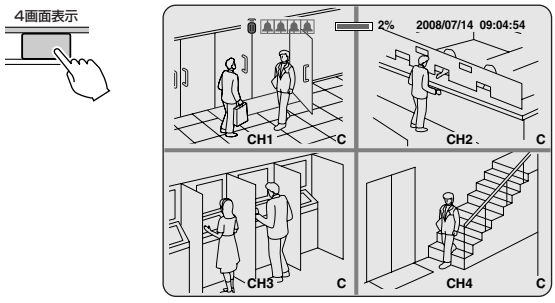


B 4画面表示

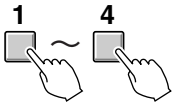
接続している4台のカメラを一度に表示できます。

1 4画面表示ボタンを押す

4画面で表示されます。



2 1画面に戻すときは、[カメラ選択]ボタンのいずれかを押す



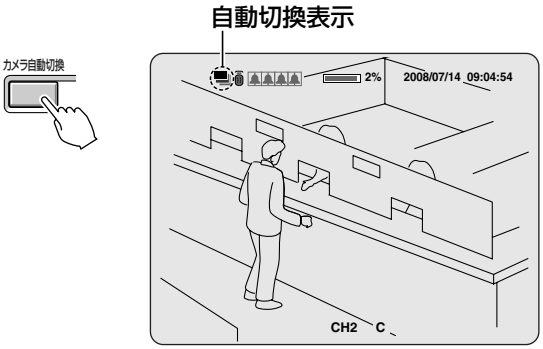
メモ 音声はチャンネル表示が黄色になっているチャンネルが出力されます。
4画面表示になる前の1画面表示のチャンネルが黄色になります。

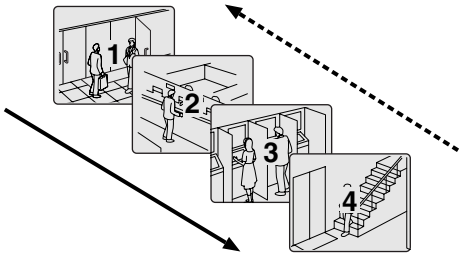
C カメラ自動切換

カメラを順番に切り換えます。

1 1画面表示中にカメラ自動切換ボタンを押す

表示中のカメラからチャンネル番号順に、自動的にカメラが切り換わります。音声入力がある場合は、音声もチャンネル番号順に切り換わります。





メモ カメラの自動切換え時間を設定することができます。(P31)

2 終了するときは、カメラ自動切換ボタンを押す

自動切換が解除されます。

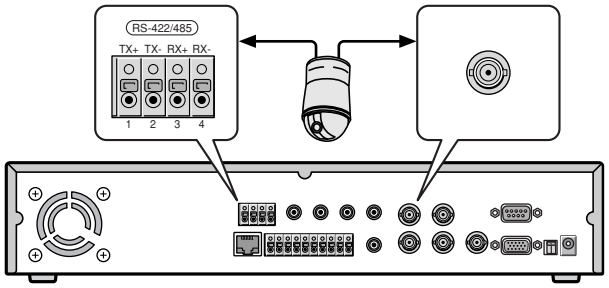
PTZカメラの操作

RS422/485端子にPTZカメラを接続すると、本機からパン/チルト、ズーム/フォーカス操作ができます。

1 接続

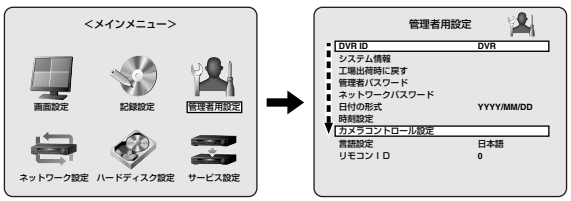
RS422/485端子とカメラ間をツイストペアケーブルで接続してください。

	RS422	RS485
1	TX+ (+Transmit Data)	A
2	TX- (-Transmit Data)	B
3	RX+ (+Receive Data)	—
4	RX- (-Receive Data)	—



2 設定

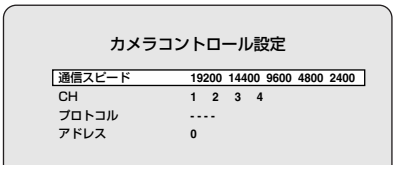
1 **メニューボタンを押し（<メインメニュー>画面になる）、コントロールボタン（ < > ）で「管理者用設定」を選択する**



- メニューボタンを押すとパスワード入力が要求されます。(P13)

2 **「カメラコントロール設定」にカーソルを合わせて、決定ボタンを押す**

「カメラコントロール設定」画面が表示されます。



3 **設定項目にカーソルを合わせ設定する**

通信スピード：通信スピードの選択
CH：接続したチャンネルの選択
プロトコル：プロトコルタイプの選択
アドレス：カメラIDの選択（0-63）

複数台のカメラを接続するときは、接続するカメラは全て同じプロトコルにしてください。

4 **設定が終われば、終了/再生停止ボタンを押す**

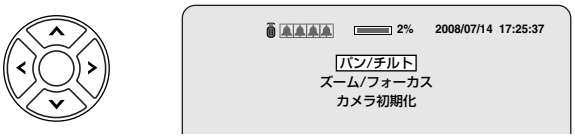
3 操作

1 **[カメラ選択]ボタンで、PTZカメラを接続しているカメラ番号を選ぶ**

2 **カメラコントロールボタンを押す**

コントロール画面が表示されます。

3 **カメラをコントロールする**



■ パン/チルトの操作

① コントロールボタン（ ∧∨ ）で**「パン/チルト」**を選び、決定ボタンを押す
② コントロールボタン（ ∧∨ ）でチルトを調整し、コントロールボタン（ < > ）でパンを調整する

- 操作中は画面上に次のメッセージが表示されます。
  上/下カーソルボタン：チルト上/下
  左/右カーソルボタン：パン左/右

■ ズーム/フォーカスの操作

① コントロールボタン（ ∧∨ ）で**「ズーム/フォーカス」**を選び、決定ボタンを押す
② コントロールボタン（ ∧∨ ）でズームを調整し、コントロールボタン（ < > ）でフォーカスを調整する

- 操作中は画面上に次のメッセージが表示されます。
  上/下カーソルボタン：ズームイン/アウト
  左/右カーソルボタン：フォーカスNear/Far

■ カメラ位置の初期化（カメラによっては動作しないものがあります）

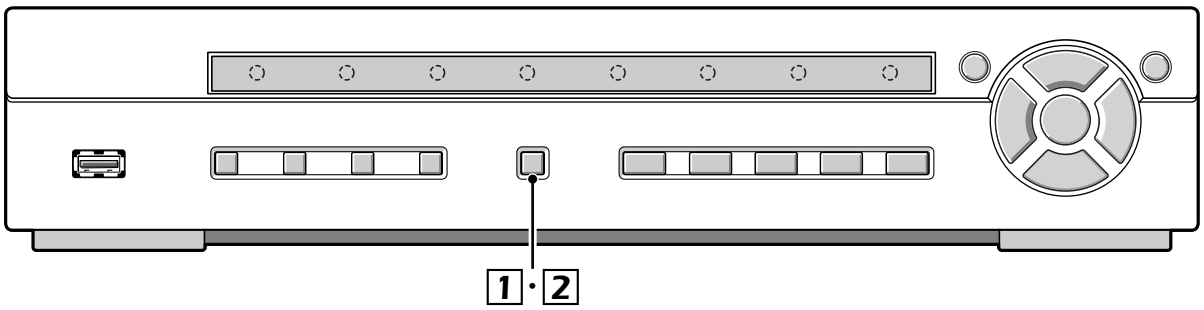
コントロールボタン（ ∧∨ ）で**「カメラ初期化」**を選び、決定ボタンを押す

- 初期化が終了すると、画面上に次のメッセージが表示され、調整位置などが初期値に戻ります。
  “初期化に成功しました！”

4 **終了するときは、終了/再生停止ボタンを押す**

- 本機でカメラコントロール設定をしていない場合は、画面上に次のメッセージが表示されます。
  “設定メニューで、カメラコントロールを設定して下さい”
- 本機の終端設定は、「入」に設定されています。変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機はボタンを押している間、動作しますが、本機の動作状況により、ボタンをはなしてから動作が終了するまでの時間が長くなることがあります。(2秒程度)
- カメラとの通信状況によりボタン操作を受け付けないことがあります。

録画



本機には以下の録画モードがあります。
録画モードの選択や録画に必要な解像度、フレームレート、画質は<メインメニュー>の**「記録設定」**でおこなってください。(P33)
各録画モードの右側の記号 (例：R) は録画中に表示されます。

■録画モードの種類

A リアルタイム録画 (R) . . . P18

監視中の映像を手動で録画します。

B 常時記録 (C) . . . P19

本機の電源を入れている間は常時録画をおこないます。

C モーション記録 (M) . . . P19

本機内蔵のモーションセンサーが反応すると録画をおこないます。

D 外部センサー録画 (S) . . . P20

本機の外部アラーム入力端子に接続されたセンサー機器などが反応すると録画をおこないます。

E タイマー記録 . . . P21

記録設定のタイマー記録画面で、毎日指定した時間帯だけ設定された録画をおこないます。

- 初期画面はパスワードが要求されます。(P30)
- パスワードの要求を解除することができます。
  “パスワード無しの設定” を参照ください。(P36)
- 記録レートが高いときは、再生時に音声が聞きづらくなったり、再生時間が長くなることがあります。
- 録画する画面によっては、記録時間が変動します。また、設定より記録レートが落ちる場合があります。

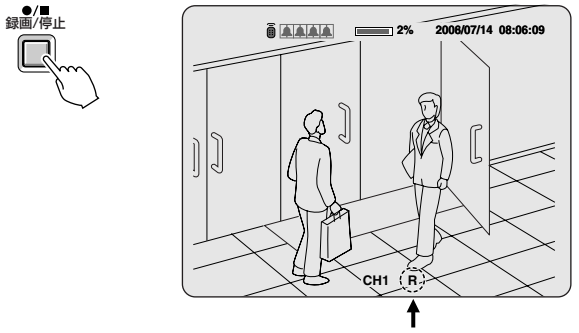
メモ

- **上書き記録の設定 (P43)**
  入：ハードディスクの容量がいっぱいなっても、上書きして録画を続ける
  切：ハードディスクの容量がいっぱいになると、録画を停止する

A リアルタイム録画

1 **ライブ映像を監視中に録画/停止ボタンを押す**

録画表示が**「R」**になり、録画が始まります。



2 **終了するときは、録画/停止ボタンを押す**

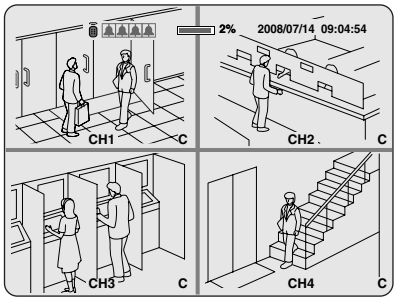
録画表示の**「R」**が消え、リアルタイム録画が終了します。

B 常時記録

1 **本機に電源を入れると、自動的に録画状態になる**

画面には「C」が表示されます。接続しているカメラは同時に録画状態となります。

録画モードは「記録設定」の「録画モード」で変更できます。また画質などの設定もできます。(P33)



2 **録画を終わるときは、「記録設定」の「録画モード」をコントロールボタン (∧∨) で選び、コントロールボタン (<>) で “切” を選択する**

「C」表示が消えます。

C モーション記録

各チャンネルにモーションセンサーを設定できます。

1 **コントロールボタン (∧∨<>) で次の設定をする**

- 解像度
- 記録レート
- チャンネル
- 記録画質

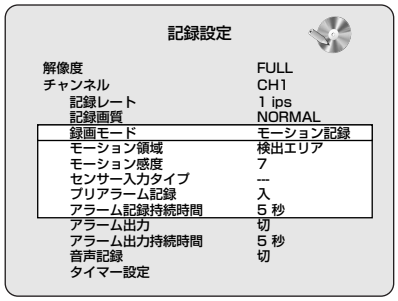
2 **コントロールボタン (∧∨) で「録画モード」を選び、コントロールボタン (<>) で “モーション記録” を選択する**

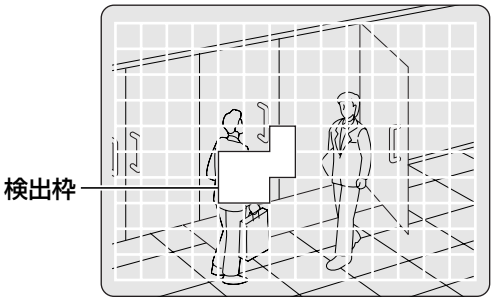
3 **コントロールボタン (∧∨) で「モーション領域」を選び、コントロールボタン (<>) で “検出エリア” を選択し、決定ボタンを押す**

モーション設定画面が表示されます。

- 検出エリア
- 全領域

“全領域” を選択したときは、モーション設定画面は表示しません。「モーション感度」の感度のみ設定してください。





4 **コントロールボタン (∧∨<>) でセンサー検知する箇所を選択し、決定ボタンを押す**

センサー検知を設定した枠はぬりつぶされます。

くり返し操作で、センサー検知する箇所を選択してください。

終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す。

5 **コントロールボタン (∧∨) で「モーション感度」を選び、コントロールボタン (<>) で感度を選択する**

感度：1～9 (低感度)

6 **コントロールボタン (∧∨) で「プリアラーム記録」を選び、コントロールボタン (<>) で入/切を選択する**

7 **コントロールボタン (∧∨) で「アラーム記録持続時間」を選び、コントロールボタン (<>) で必要に応じて録画時間を選択する**

録画時間：2～30秒、1～5、10、15分

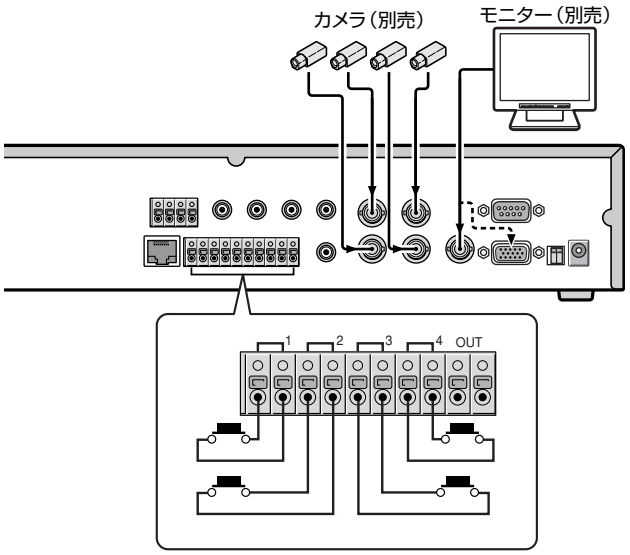
8 **終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す**

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

D 外部センサー録画

各チャンネルに外部センサーを設定できます。

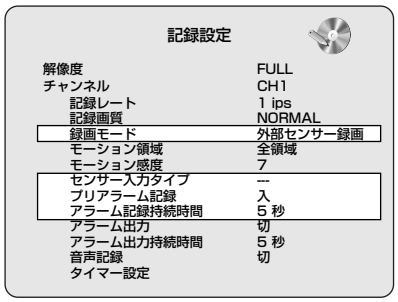
1 外部アラーム入力端子に外部スイッチを接続する



2 コントロールボタン（ ∧∨<> ）で次の設定をする

- 解像度
- 記録レート
- チャンネル
- 記録画質

3 コントロールボタン（ ∧∨ ）で「録画モード」を選び、コントロールボタン（ <> ）で “外部センサー録画” を選択する



4 コントロールボタン（ ∧∨ ）で「センサー入力タイプ」を選び、コントロールボタン（ <> ）で検知状態（ノーマルオープンまたはノーマルクローズ）を選択する

5 コントロールボタン（ ∧∨ ）で「プリアラーム記録」を選び、コントロールボタン（ <> ）で入/切を選択する

6 コントロールボタン（ ∧∨ ）で「アラーム記録持続時間」を選び、コントロールボタン（ <> ）で必要に応じて録画時間を選択する

録画時間：2～30秒、1～5、10、15分

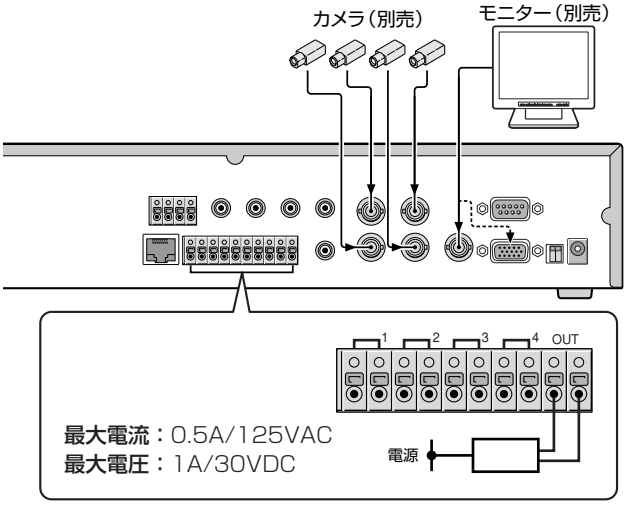
7 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

■外部スイッチ作動時の出力設定

本機のモーションセンサーあるいは外部センサーが反応すると、アラーム出力端子に接続された外部アラーム機器にリレー信号が出力されます。通常はオープンです。

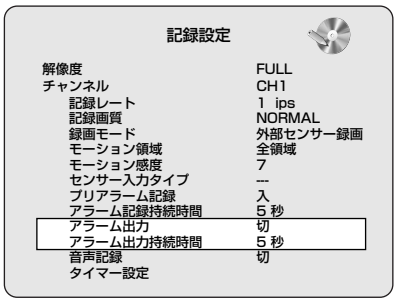
1 アラーム出力端子に外部アラーム機器を接続する



2 コントロールボタン（ ∧∨ ）で「アラーム出力」を選び、コントロールボタン（ <> ）で “入” を選択する

3 コントロールボタン（ ∧∨ ）で「アラーム出力持続時間」を選び、コントロールボタン（ <> ）でアラーム信号を出力する時間を選択する

持続時間：1～60秒



4 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

E タイマー記録

1 **コントロールボタン (∧∨<>) で次の設定をする**

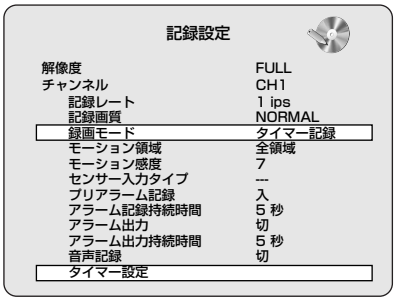
- 解像度
- 記録レート
- チャンネル
- 記録画質

2 **コントロールボタン (∧∨) で「録画モード」を選び、コントロールボタン (<>) で "タイマー記録" を選択する**

センサー検知をおこなう場合は、次の設定が必要です。
- モーション領域
- プリアラーム記録
- モーション感度
- アラーム記録持続時間
- センサー入力タイプ

3 **コントロールボタン (∧∨) で「タイマー設定」を選び、決定ボタンを押す**

チャンネル1を選択している場合は、**「タイマー設定-CH1」**画面が表示されます。

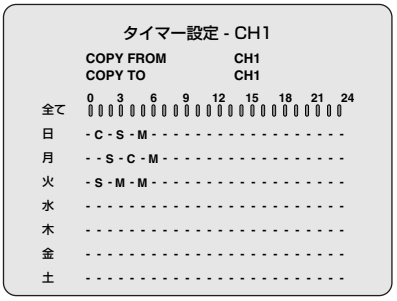


4 **コントロールボタン (∧∨) で "全て" または各曜日を選択し、コントロールボタン (<>) で時間を選択して、決定ボタンで録画モードを設定する**

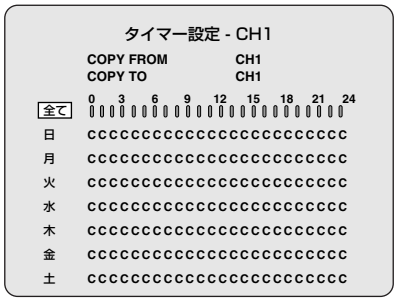
くり返し他の録画モードを設定してください。

-：切 (録画しない)
C：常時記録録画
M：モーション記録録画
S：外部センサー録画

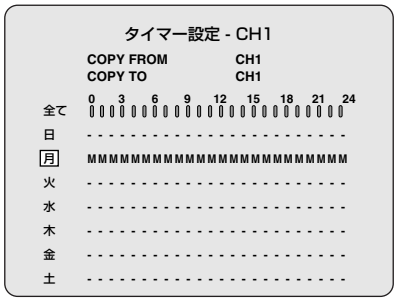
入力例：



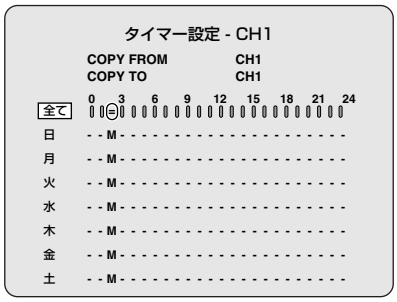
● **毎日同じ設定 (例：常時記録) にする場合：**
"全て" にカーソルを移動させると、表示が赤色になります。決定ボタンをくり返し押すと毎日同じ設定 (C) になります。



● **1日中同じ設定 (例：モーション記録) にする場合：**
曜日にカーソルを移動させると、表示が赤色になります。決定ボタンをくり返し押すと1日中同じ設定 (M) になります。



● **毎日指定した時間だけを同じ設定 (例：モーション記録) にする場合：**
カーソルを **"全て"** に移動させ、コントロールボタン (>) で指定する時間にカーソルを移動させると、縦バーが = (赤色) に変わります。決定ボタンをくり返し押すと同じ設定 (M) になります。



5 **終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す**

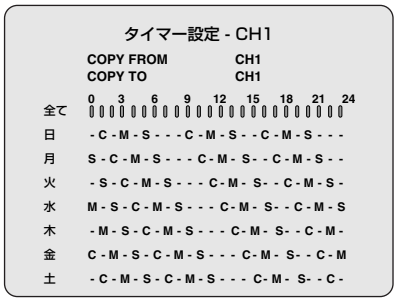
くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

■タイマー設定した内容を他のチャンネルにコピーする

例1 チャンネル3にチャンネル1のタイマー設定をコピーする（COPY FROM）

1 チャンネル1のタイマーを設定し、終了/再生停止ボタンを押す

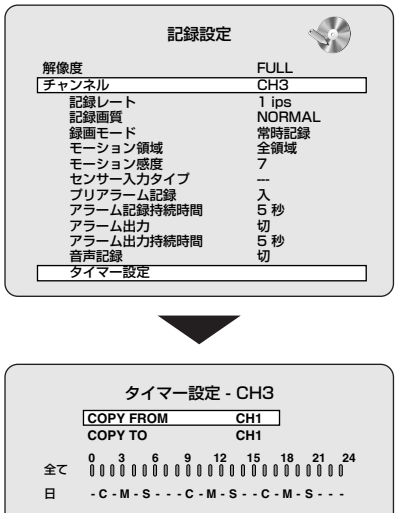
「記録設定」画面に戻ります。



2 コントロールボタン（∧∨）で「チャンネル」を選び、コントロールボタン（<>）で“CH3”を選択する

3 コントロールボタン（∧∨）で「タイマー設定」を選び、決定ボタンを押す

「タイマー設定-CH3」の画面が表示されます。



4 コントロールボタン（∧∨）で「COPY FROM」を選び、コントロールボタン（<>）で“CH1”を選択し、決定ボタンを押す

CH1のタイマー設定がCH3にコピーされます。

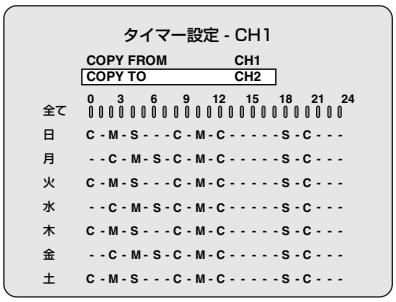
5 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

例2 チャンネル2にチャンネル1のタイマー設定をコピーする（COPY TO）

1 チャンネル1のタイマーを設定し、コントロールボタン（∧∨）で「COPY TO」を選び、コントロールボタン（<>）で“CH2”を選択し、決定ボタンを押す

CH1のタイマー設定がCH2にコピーされます。



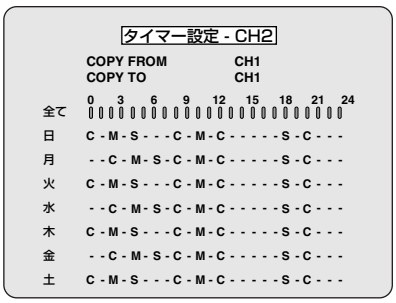
2 終了/再生停止ボタンを押す

「記録設定」画面に戻ります。

3 コントロールボタン（∧∨）で「チャンネル」を選び、コントロールボタン（<>）で“CH2”を選択する

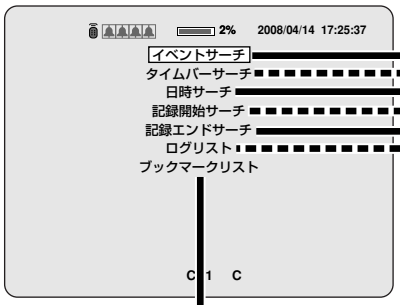
4 コントロールボタン（∧∨）で「タイマー設定」を選び、決定ボタンを押す

「タイマー設定-CH2」の画面が表示されます。CH1のタイマー設定がCH2にコピーされています。



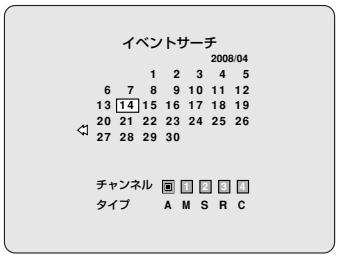
録画した映像の再生

録画した映像の検索方法には以下の種類があります。



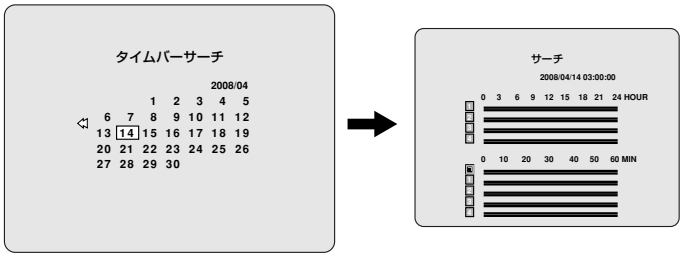
■イベントサーチ（P24）

カレンダー表示で日付、カメラチャンネル、録画のタイプを指定して、録画リストから検索します。



■タイムバーサーチ（P25）

日付、時刻を時間軸から指定して検索します。



■日時サーチ（P25）

年月日、時刻を数字で直接指定して検索します。

■記録開始サーチ（P25）

最初（古い）付近の録画データを検索します。

■記録エンドサーチ（P26）

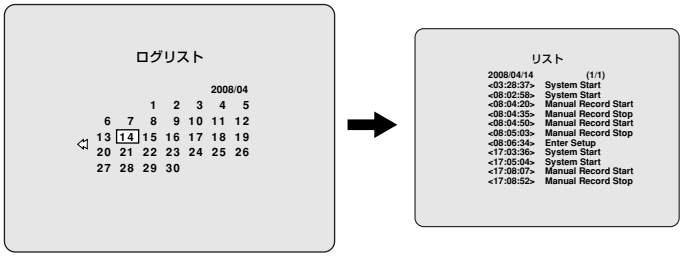
最後（新しい）付近の録画データを検索します。

■ブックマークリスト（P26）

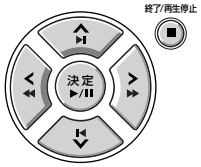
コピーした静止画あるいは動画を検索します。

■ログリスト（P26）

指定した日の本機の操作・動作記録（ログ）を閲覧します。

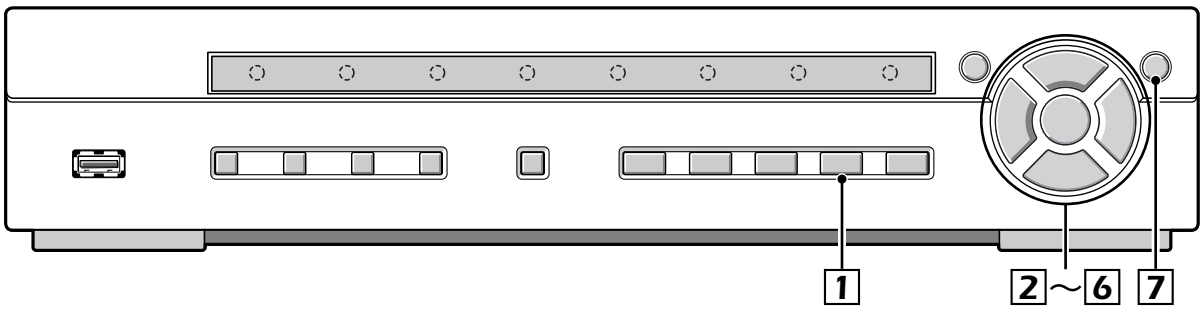


■再生中の各ボタンのはたらき



▶▶	押すごとに早送りスピードが変わり、画面右下に表示されます。 ▶（標準）→2 ▶▶（2倍）→4 ▶▶→8 ▶▶
◀◀	押すごとに早戻しスピードが変わり、画面右下に表示されます。 ◀（標準）←2 ◀◀（2倍）←4 ◀◀←8 ◀◀
▶II	1分先の映像にジャンプ
I◀	1分前の映像にジャンプ
▶/II	一時停止（静止画表示） もう一度押すと再生を再開します。
終了/再生停止 ■	途中で再生を終わる

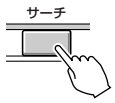
メモ 録画を優先するため、早送り、早戻しの再生速度が表示より遅くなる場合があります。

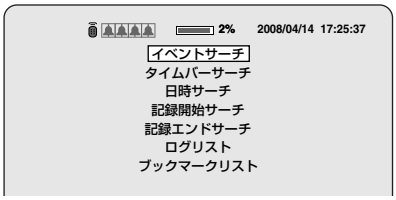


A イベントサーチ

1 サーチボタンを押す

サーチのメニュー画面が表示されます。





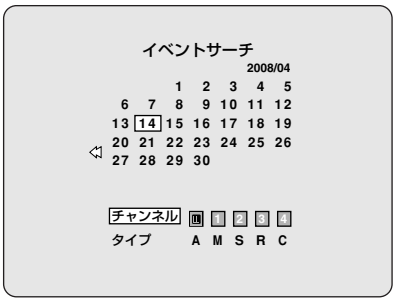
2 コントロールボタン（∧∨）で「イベントサーチ」を選び、決定ボタンを押す

「イベントサーチ」画面が表示されます。

3 コントロールボタン（∧∨<>）で検索したい日付を選び、決定ボタンを押す

カーソルが**「チャンネル」**に移ります。

- 録画データのある日付は赤字で表示されています。
- ◁：前月に録画があることを示します
  ▷：次月に録画があることを示します
  カレンダーを表示している月の最初に録画があった日にカーソルを合わせて、< ボタンを押すと前月のカレンダーを表示します。その月の最後に録画があった日にカーソルを合わせて、> ボタンを押すと次月のカレンダーを表示します。



4 コントロールボタン（<>）でチャンネルを選び、決定ボタンを押す

カーソルが**「タイプ」**に移ります。

- 全チャンネルを選びたい場合は、▣を選んでください。

5 コントロールボタン（<>）で検索したい録画タイプ（モード）を選び、決定ボタンを押す

A：すべてのタイプ
M：モーション検知による録画
S：センサー検知による録画
R：リアルタイム録画
C：常時録画

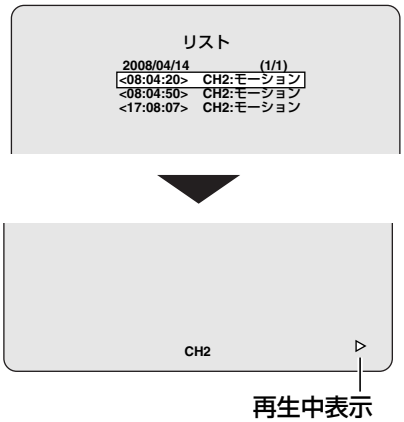
例) 2チャンネルのカメラのモーション検知（M）による録画を検索する

リスト画面が表示されます。

6 コントロールボタン（∧∨）で再生したい映像を選び、決定ボタンを押す

再生が始まります。

複数ページある場合は、コントロールボタン（<>）で切り換えることができます。



7 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

B タイムバーサーチ

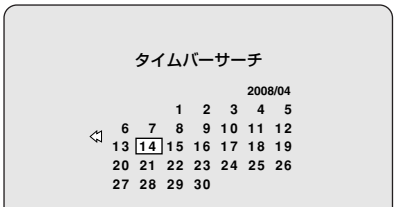
1 サーチボタンを押す

サーチのメニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタン（∧∨）で「タイムバーサーチ」を選び、決定ボタンを押す

「タイムバーサーチ」画面が表示されます。
録画のある場合は、日付が赤字で表示されます。

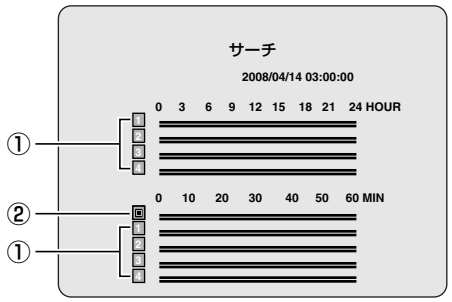
- ◁：前月に録画があることを示します
  ▷：次月に録画があることを示します
  カレンダーを表示している月の最初に録画があった日にカーソルを合わせて、< ボタンを押すと前月のカレンダーを表示します。その月の最後に録画があった日にカーソルを合わせて、> ボタンを押すと次月のカレンダーを表示します。



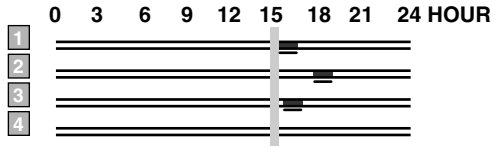
3 コントロールボタン（∧∨<>）で再生したい日付を選び、決定ボタンを押す

タイムライン画面が表示されます。

- この画面は上段が24時間表示、下段が60分表示となっています。録画のある時間は赤色ラインで表示されます。
- 各表示の最初には、再生を選択するための黄色の縦線が表示されます。この縦線を右方向に移動させ、録画のある赤色ラインを選択してください。
  ①チャンネル番号
  ②全チャンネル選択表示：⊞

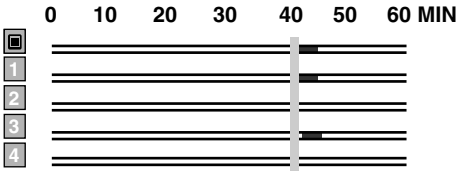


4 コントロールボタン（<>）で再生したい時間に黄色の縦線を移動させ、決定ボタンを押す

黄色の縦線が下段へ移動します。

音声が記録されている場合は赤ラインの下に緑ラインが表示されます。

5 コントロールボタン（<>）で再生したい分に黄色の縦線を移動させ、決定ボタンを押す

再生が始まります。



- ⊞は全チャンネルを選択したときに赤色になります。
- コントロールボタンで各チャンネルの選択ができます。

6 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

C 日時サーチ

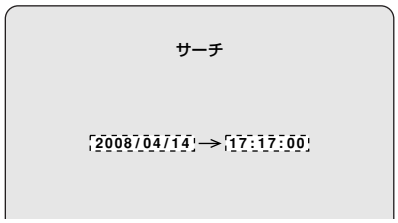
1 サーチボタンを押す

サーチのメニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタン（∧∨）で「日時サーチ」を選び、決定ボタンを押す

「サーチ」画面が表示されます。

3 コントロールボタン（<>）で再生したい日時を選び、コントロールボタン（∧∨）で数値を入力する



4 決定ボタンを押す

再生が始まります。

- 指定した日時に録画がない場合、最も近い映像を再生します。（記録状態によっては、**"データがありません"** と表示されます。）

5 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

D 記録開始サーチ

1 サーチボタンを押す

サーチのメニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタン（∧∨）で「記録開始サーチ」を選び、決定ボタンを押す

最初の付近の録画の再生が始まります。

3 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

E 記録エンドサーチ

1 サーチボタンを押す

サーチのメニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタン（∧∨）で「記録エンドサーチ」を選び、決定ボタンを押す

最後の付近の録画の再生が始まります。

3 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

F ログリスト

1 サーチボタンを押す

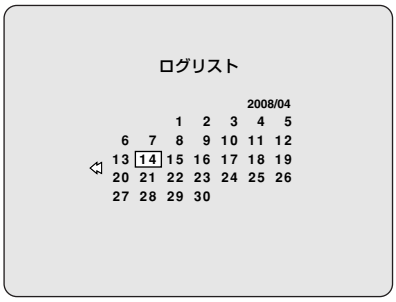
サーチのメニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタン（∧∨）で「ログリスト」を選び、決定ボタンを押す

「ログ」画面が表示します。

録画のある場合は、日付が赤字で表示されます。

- ◁：前月に録画があることを示します
  ▷：次月に録画があることを示します
  カレンダーを表示している月の最初に録画があった日にカーソルを合わせて、< ボタンを押すと前月のカレンダーを表示します。その月の最後に録画があった日にカーソルを合わせて、> ボタンを押すと次月のカレンダーを表示します。



3 コントロールボタン（∧∨<>）で表示したい日付を選び、決定ボタンを押す

「リスト」画面が表示されます。

- 複数のリストがある場合は、コントロールボタン（∧∨<>）で前後のリストを見ることができます。

4 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

G ブックマークリスト

お好みのライブ映像や再生映像をマーク操作してください。マークした記録リストの中の映像を表示（コピー）することができます。(P27)

1 サーチボタンを押す

サーチのメニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタン（∧∨）で「ブックマークリスト」を選び、決定ボタンを押す

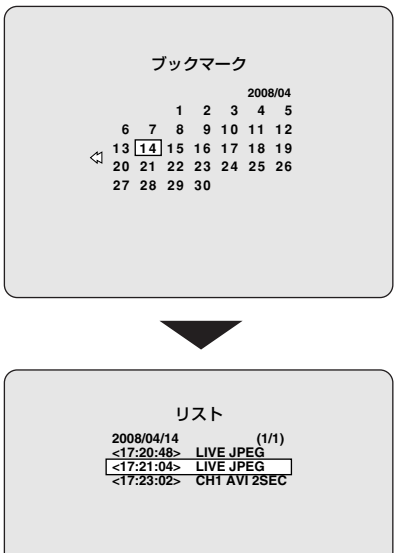
「ブックマーク」画面が表示されます。

録画のある場合は、日付が赤字で表示されます。

- ◁：前月に録画があることを示します
  ▷：次月に録画があることを示します
  カレンダーを表示している月の最初に録画があった日にカーソルを合わせて、< ボタンを押すと前月のカレンダーを表示します。その月の最後に録画があった日にカーソルを合わせて、> ボタンを押すと次月のカレンダーを表示します。

3 コントロールボタン（∧∨<>）で日付が赤字で表示されている箇所を選び、決定ボタンを押す

「リスト」が表示されます。



4 コントロールボタン（∧∨）でリストからマークした日付を選び、決定ボタンを押す

静止画が表示されます。

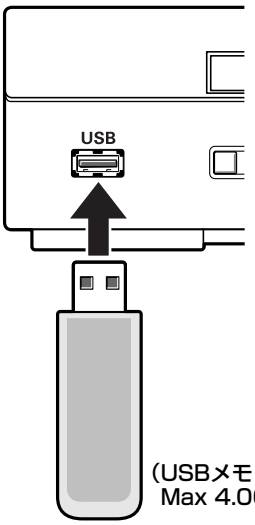
録画映像をUSBメモリにコピーする

必要な映像を選びUSBメモリにコピーすることができます。映像を選ぶことをマークするといいます。ライブ映像の場合は静止画、再生中の場合は、静止画と動画の選択ができます。

A ライブ映像のマークとコピー

1 USB端子にUSBメモリを接続し、コピーできる状態にする

●USBメモリを接続してください。



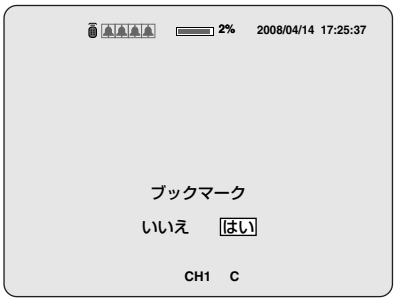
(USBメモリ 2.0のみ
Max 4.0GB)

2 ライブ映像を監視中に、コピーしたい場面でコピーボタンを押す

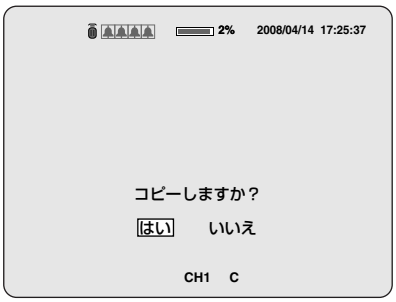
「ブックマーク」画面が表示されます。

3 コントロールボタン (<>) で「はい」を選び、決定ボタンを押す

画面には **"ブックマークに成功しました！"** が表示されます。



4 承認画面が表示されます



5 コントロールボタン (<>) で「はい」を選び、決定ボタンを押す

●**"コピー中…"** 表示になり、USBメモリに映像が保存されます。保存が終わると **"コピー完了"** 表示になります。

メモ

- 指定した記録メディアが装着されていない場合や、メディアの種類、状態によっては、エラーメッセージが表示されます。
- 「はい/いいえ」の選択にかかわらず、コピーボタンを押した時点の画像はマーキングされ記憶されます。サーチメニューのブックマークリストで検索・再生ができます。

USBメモリにコピーが始まるとLANが切断されます。

6 自動的にライブ画面に戻ります

B 再生映像のマークとコピー

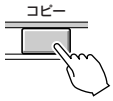
1 USB端子にUSBメモリを接続し、コピーできる状態にする

●USBメモリを接続してください。

2 サーチボタンを押して、リストからコピーしたい映像を再生する（P24）

3 コピーしたい映像でコピーボタンを押す

映像が一時停止になり、「ブックマーク」画面が表示します。



4 コントロールボタン（ <> ）で「ビデオ」（例）を選び、決定ボタンを押す

「保存期間&CH」画面が表示されます。

「静止画」を選択した場合：
映像が静止画でマークされ、**“ブックマーク完了”** が表示されます。

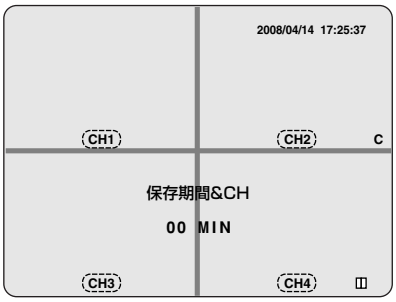
メモ ブックマークリストに表示される時間は、ブックマークを実行した時の時間になります。

5 4画面の場合は、チャンネルボタン（1～4）でコピーするチャンネルを選択する

ボタンを押すとチャンネル表示の文字の色が交互に切り換わります。

- **黄色（初期設定）**：コピーする
- **白色**：コピーしない

メモ 1画面の場合は黄色の表示（コピーする）に固定されますので、切換えはできません。



6 コントロールボタン（ ∧∨<> ）で保存する時間（分）を指定して、決定ボタンを押す

映像が動画としてマークされ、**“保存完了”** が表示されます。
保存時間は、分単位で最大30分の設定が可能です。

7 コピー操作は、「A ライブ映像のマークとコピー」の 4 項以降の操作をおこなってください。

C コピー映像の再生

コピーした静止画像はJPG形式、ビデオ画像はAVI形式で保存されます。再生する場合は、静止画像はJPG形式対応の映像表示ソフト、ビデオ画像はAVI形式対応の映像再生ソフトでおこなってください。

コピーした映像のフォルダ構成

YYYYMMDD（年 月 日）
- hhmmsscc.avi（動画ファイル）
- hhmmsscc.smi（動画に付属の情報ファイル）
- hhmmsscc.avi
- hhmmsscc.smi（時 分 秒 チャンネル）

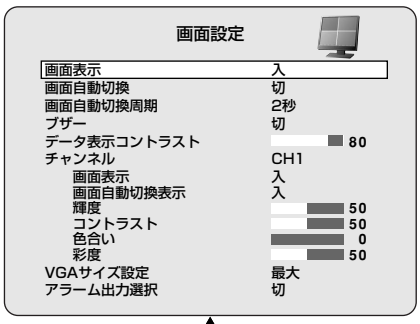
コピーした映像の日時とチャンネルが表示されます。

メモ 既存のソフトでビデオ画像を再生できない場合は、付属のCD-ROMから “FFDShow（Codec）” をインストールしてください。
- パソコンのドライブにCD-ROMをセットし、「ffdshow-yyyymmdd.exe」ファイルをダブルクリックするとインストーラーが起動します。
- セットアップウィザードに従って、コーディックやフィルターなどの選択は初期設定の状態でインストールしてください。

メニュー設定の構成と働き

■画面設定（P31）

ライブ映像の監視時に関する自動切換設定や各カメラの映像調整などをおこないます。

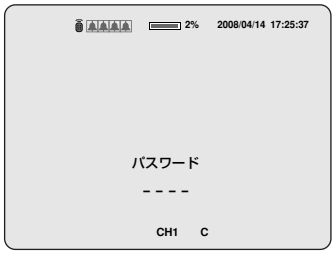


■記録設定（P33）

録画に関する解像度、各チャンネルごとの録画モードや画質やモーション、アラーム設定などをおこないます。

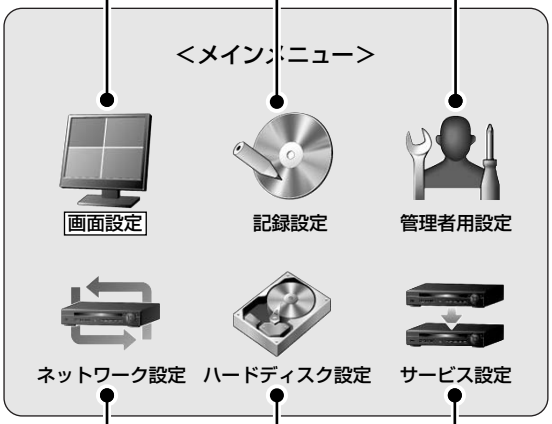
■管理者用設定（P35）

設定の初期化やパスワード、日時設定、言語設定、PTZカメラ設定など、管理者が設定をおこないます。



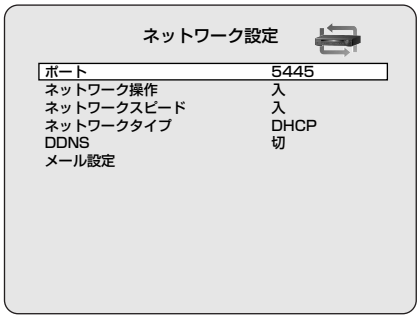
（P13）

メインメニュー



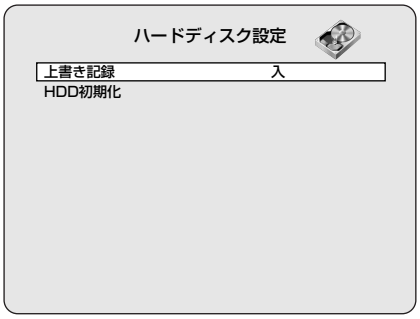
■ネットワーク設定（P39）

本機をパソコンとネットワーク接続して遠隔操作するための設定をおこないます。



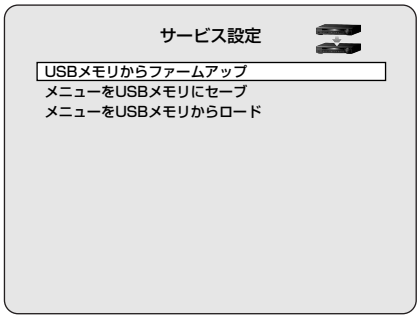
■ハードディスク設定（P43）

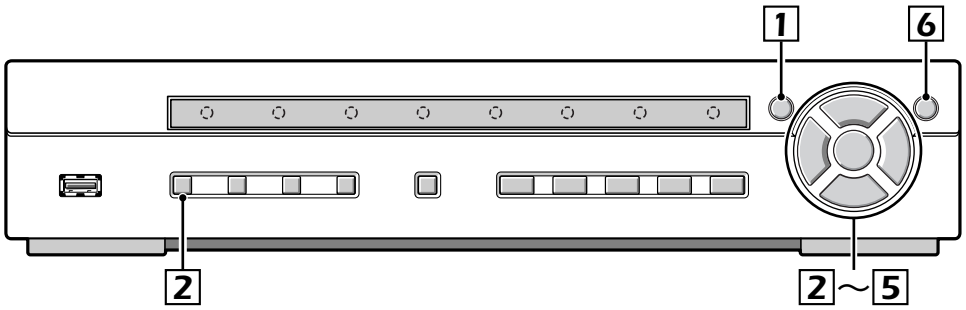
上書き設定や初期化など、ハードディスクに関する設定です。



■サービス設定（P44）

アップグレードや設定のUSBメモリへの保存などをおこないます。

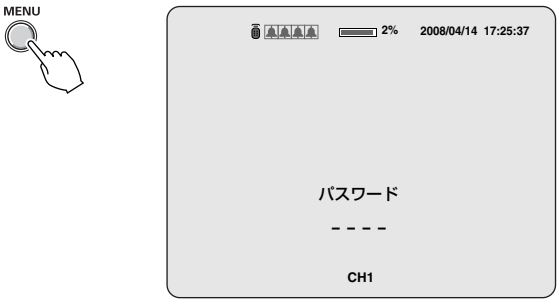




■ メインメニューの基本操作

1 メニューボタンを押す

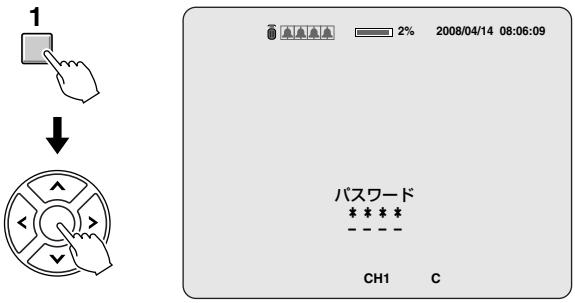
パスワード入力画面が表示されます。



2 1ボタンを4回押して「1111」を入力し、決定ボタンを押す

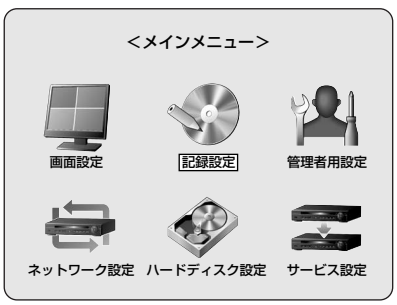
<メインメニュー>画面が表示されます。

- 「1111」は工場出荷時のパスワードです。不正使用を防ぐため、変更することをおすすめします。（P36）



3 コントロールボタン（∧∨<>）でメニューを選択する

例：記録設定



4 決定ボタンを押す

「記録設定」メニューが表示されます。

5 コントロールボタン（∧∨）で項目を選び、コントロールボタン（<>）で詳細を設定する

設定用の別画面がある場合は、項目を選択して決定ボタンを押して設定します。

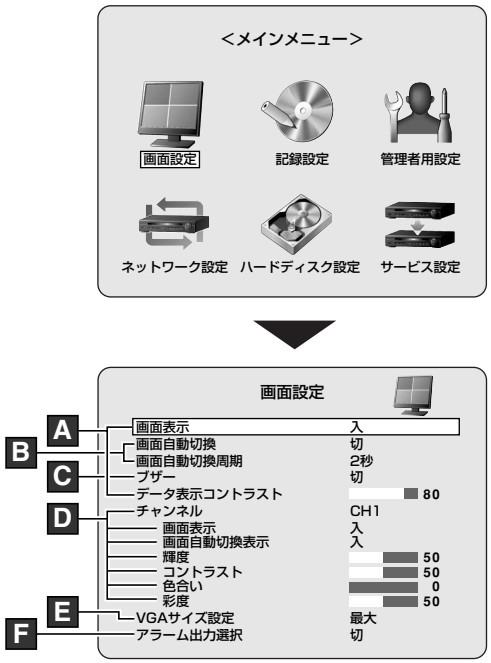
6 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

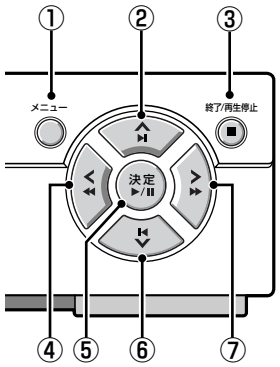
メモ メニュー設定画面を抜けると、設定内容は保存されます。
電源を切っても設定内容は記憶されています。

画面設定

メニューボタンを押して、パスワードを入力してください。(P30)
<メインメニュー>が表示されますので、コントロールボタン (∧∨<>) で**「画面設定」**を選択してください。



■ メニュー操作のボタンの働き



① **メニュー**：押すとメインメニューを表示します。
② ∧：カーソルを上に移動するときに押します。
③ **終了/再生停止**：メニュー操作を終わるときにくり返し押してください。
④ <：設定値などを選ぶときに押します。
⑤ **決定**：設定画面に入る、選択、確定するときに押します。
⑥ ∨：カーソルを下に移動するときに押します。
⑦ >：設定値などを選ぶときに押します。

A 画面表示、データ表示コントラストの設定

日付やカメラチャンネルなどを画面に表示させたり、画面上の文字のコントラストを設定します。

1 コントロールボタン (∧∨) で「画面表示」を選び、コントロールボタン (<>) で "入/切" を選択する

入：画面上に日時やチャンネルなどを表示させる
切：表示させない (録画表示は除く)

2 コントロールボタン (∧∨) で「データ表示コントラスト」を選び、コントロールボタン (<>) で文字のコントラストを調整する

表示バー (20-100) が変化し、リアルタイムで表示文字のコントラストが変化します。

B 画面自動切換、画面自動切換周期の設定

画面の自動切換と自動切換時間を設定します。

1 コントロールボタン (∧∨) で「画面自動切換」を選び、コントロールボタン (<>) で "入" を選択する

入：1画面で自動切換をおこなう (ライブ時)
切：自動切換をおこなわない

2 コントロールボタン (∧∨) で「画面自動切換周期」を選び、コントロールボタン (<>) で自動切換時間を選択する

1、2、3~58、59、60秒

C ブザーの設定

モーション記録や外部センサー録画の発生時の警告音を設定します。

1 コントロールボタン (∧∨) で「ブザー」を選び、コントロールボタン (<>) で "入/切" を選択する

入：モーション記録や外部センサー録画の発生時に警告音を鳴らす
切：音を鳴らさない

D チャンネルの設定

各チャンネルの映像に関する設定をします。
各設定はコントロールボタン（∧∨）で項目を選び、コントロールボタン（＜＞）で設定値を選択してください。

●チャンネルとチャンネル名の設定

1 コントロールボタン（∧∨）で「チャンネル」を選び、コントロールボタン（＜＞）で次のチャンネルから選び、決定ボタンを押す

CH1/CH2/CH3/CH4
「カメラタイトル」画面が表示されます。
チャンネル名を変更しない場合は、チャンネルの選択だけです。

2 コントロールボタン（＜＞）で入力位置を選び、コントロールボタン（∧∨）で文字などを選択する

文字選択（仕様参照P62）

3 終わるときは、決定ボタンを押す

現在表示のCH1などがHALL-1F（例）に変わります。

●画面表示の設定

「画面表示」を選び、画面の表示を設定する

入：選択チャンネルのライブ映像を表示する

切：選択チャンネルのライブ映像を表示しない

メモ 日時やチャンネルなどの画面情報の表示は、画面表示のメニュー設定に依存します。（P31）

●画面自動切換表示の設定

「画面自動切換表示」を選び、自動切換設定をする

入：自動切換時に選択チャンネルを表示する

切：自動切換時は選択チャンネルを表示させない

●輝度の設定

「輝度」を選び、選択チャンネルの映像の明るさを調整する

表示バー（0-100）が変化し、リアルタイムで映像の明るさが変化します。

●コントラストの設定

「コントラスト」を選び、選択チャンネルの画像の暗い部分と明るい部分を調整する

表示バー（0-100）が変化し、リアルタイムで画像のコントラストが変化します。

●色合いの設定

「色合い」を選び、選択チャンネルの画像の色相を調整する

表示バー（0-100）が変化し、リアルタイムで画像の色相が変化します。

●彩度の設定

「彩度」を選び、選択チャンネルの画像の彩度を調整する

表示バー（0-100）が変化し、リアルタイムで画像の彩度が変化します。

終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

くり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

E VGAサイズの設定

パソコン用のVGA端子付きモニターを接続したときの画面の表示方法を選択します。

コントロールボタン（∧∨）で「VGAサイズ設定」を選び、コントロールボタン（＜＞）で選択する

最大：モニターの画面全体に表示する

標準：モニター画面周辺をあけて表示する

終了/再生停止ボタンを押すと、**“画面設定を変更しますか？”**が表示され **“はい”** を選び決定ボタンを押すと設定を完了し、再起動してライブ映像になります。

F アラーム出力選択の設定

アラームの出力状態を設定します。

切：ライブ映像が途切れてもハードディスクエラーでもアラームを出力しない

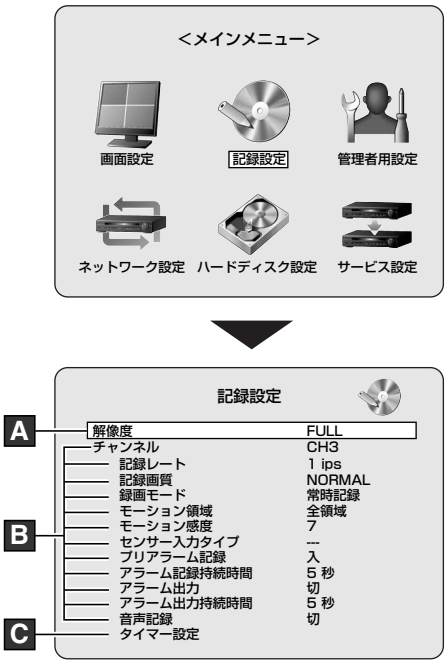
VIDEO LOSS：ライブ映像が途切れたときアラームを出力する

HDDエラー：ハードディスクエラーのときにアラームを出力する

ALL：ライブ映像が途切れたときやハードディスクエラーの場合にアラームを出力する

記録設定

メニューボタンを押して、パスワードを入力してください。(P30)
<メインメニュー>が表示されますので、コントロールボタン (∧∨<>) で**「記録設定」**を選択してください。



A 解像度の設定

録画の解像度を設定します。

コントロールボタン (∧∨) で「解像度」を選び、コントロールボタン (<>) で選択する

FULL：1画面の録画時
- 704×480

QUAD：4画面の録画時
- 352×240

B チャンネルの設定

各チャンネルの録画に関する設定をします。

各設定はコントロールボタン (∧∨) で項目を選び、コントロールボタン (<>) で設定値を選択する

●チャンネルの設定

「チャンネル」を選び、チャンネルを選択する

選択：CH1/CH2/CH3/CH4

●記録レートの設定（単位：ips）

「記録レート」を選び、数値を選択する

FULLの場合の選択：切/1/2/・・・29/30 (ips)
QUADの場合の選択：切/1/2/・・・29/30 (ips)

設定可能な記録レートの合計値は、解像度の設定によって次のように制限されます。
解像度設定で "FULL" を選択した場合：
全チャンネル合わせて30フレームまで可能
解像度設定で "QUAD" を選択した場合：
全チャンネル合わせて120フレームまで可能

●記録画質の設定

「記録画質」を選び、画質を選択する

選択：BASIC/NORMAL/FINE

●録画モードの設定

「録画モード」を選び、録画モードを選択する

切
リアルタイム録画は可能です。(通常は録画されません。)

常時記録 (P19)
本機の電源を入れている間は常時録画をおこないます。

モーション記録 (P19)
本機内蔵のモーションセンサーが反応すると録画をおこないます。

外部センサー録画 (P20)
本機の外部センサー (SENSOR) 端子に接続されたセンサー機器などが反応すると録画をおこないます。

タイマー記録 (P21)
記録設定の「タイマー記録」画面で、毎日指定した時間帯だけ設定された録画をおこないます。

●モーション領域の設定（P19）

モーションセンサーで検知する領域を選択し、“検出エリア”を選択した場合は検出枠の設定が必要です。

全領域：
全画面上でモーションセンサーが働く

検出エリア：
検出枠を設定した箇所だけモーションセンサーが働く

●モーション感度の設定

「モーション感度」を選び、モーションセンサーの検知感度を選択する

選択：1/2/・・・8/9（低感度）

●センサー入力タイプの設定

外部センサーを接続したときの検知状態を選択します。

「センサー入力タイプ」を選び、検知状態を選択する

- - -：動作しません
N/O：センサー接続時にノーマルオープンで検知する
N/C：センサー接続時にノーマルクローズで検知する

●プリアラーム記録の設定

「プリアラーム記録」を選び、プリ録画を選択する

入：内蔵モーションセンサーや外部センサー感知の発生の約5秒前から録画を開始する（1 ips 固定）

切：プリ録画をおこなわない

●アラーム記録持続時間の設定

「アラーム記録持続時間」を選び、センサー検出後からの録画時間を選択する

選択：2/3/4/・・・30秒、1～5、10、15分

●アラーム出力の設定

「アラーム出力」を選び、アラーム時の出力状態を選択する

入：内蔵モーションセンサーや外部センサー感知時に、外部アラーム機器に信号を出力する

切：外部アラーム機器に信号を出力しない

●アラーム出力持続時間の設定

「アラーム出力持続時間」を選び、アラーム信号を出力時間を設定する

選択：1/2/3/・・・58/59/60秒

●音声記録の設定

「音声記録」を選び、音声の録音設定をする

入：ライブ映像の音声を録音する
外部マイクやスピーカの接続により、ライブ音声も聞くことができます。

切：ライブ映像の音声を録音しない
ライブ音声を出力しない

C タイマー設定

タイマー記録設定をおこないます。
1時間単位で設定することにより、各チャンネルの録画スケジュールを設定することができます。（P21）

管理者用設定

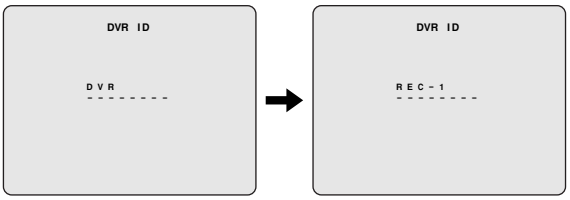
メニューボタンを押して、パスワードを入力してください。(P30)
<メインメニュー>が表示されますので、コントロールボタン (∧∨<>) で**「管理者用設定」**を選択してください。

A DVR IDの設定

本機を複数接続するときは、各機器に固有の名前を付けることができます。

1 コントロールボタン (∧∨) で「DVR ID」を選び、決定ボタンを押す

「DVR ID」画面が表示されます。



2 コントロールボタン (∧∨<>) をくり返して機器名 (例：REC-1) を入力し、決定ボタンを押す

変更した機器名は管理者用設定画面の「DVR ID」に表示されます。

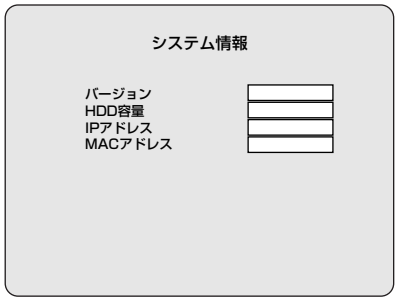
また、ネットワーク設定の「メール設定」を使用した場合は (P42)、送信されるメール内に記載されます。

B システム情報の確認

本機のバージョン情報などが確認できます。

コントロールボタン (∧∨) で「システム情報」を選び、決定ボタンを押す

「システム情報」画面が表示されます。



C 工場出荷時に戻す

本機の各設定を工場出荷時に戻すことができます。

1 コントロールボタン (∧∨) で「工場出荷時に戻す」を選び、決定ボタンを押す

「工場出荷時に戻す」画面が表示されます。

2 コントロールボタン (<>) で「はい」を選択し、決定ボタンを押す

「初期化中…」画面になります。モニターにライブ映像が表示されます。

D 管理者パスワードの設定

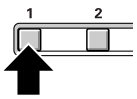
メニュー設定、リアルタイム記録、再生の操作をおこなう場合のパスワードを設定できます。初期値は「1111」です。

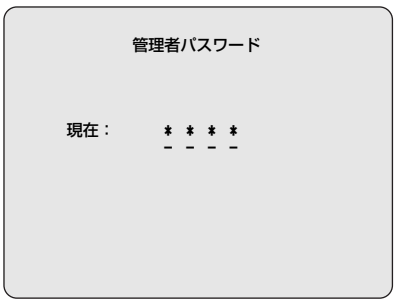
1 コントロールボタン（∧∨）で「管理者パスワード」を選び、決定ボタンを押す

「現在」のパスワード入力画面が表示されます。

2 カメラ選択ボタン（1/2/3/4）で現在のパスワード（1111）を入力し、決定ボタンを押す

「新」のパスワード入力画面になります。

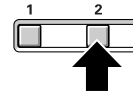




パスワードの入力を誤ると次のメッセージが表示されますので、もう一度正しいパスワードを入力してください。
“パスワードが違います!!”

3 カメラ選択ボタン（1/2/3/4）で新しいパスワード（例2222）を入力し、決定ボタンを押す

「確認」のパスワード入力画面になります。



4 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力して、決定ボタンを押す

“パスワードを変更しました” のメッセージが表示されますので決定ボタンを押してください。

パスワードを誤ると **“パスワードが違います!!”** と表示しますので、正しいパスワードを入力し直してください。

■パスワード無しの設定

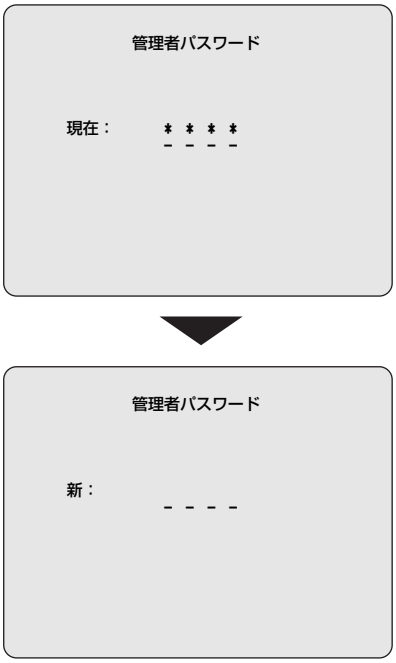
パスワードを入力せずにメニュー設定画面に入ることができます。

1 コントロールボタン（∧∨）で「管理者パスワード」を選び、決定ボタンを押す

「現在」のパスワード入力画面が表示されます。

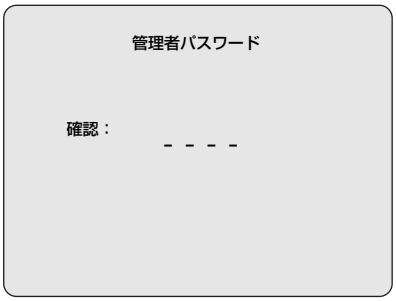
2 カメラ選択ボタン（1/2/3/4）で現在のパスワードを入力し、決定ボタンを押す

「新」のパスワード入力画面になります。



3 何も入力せずに決定ボタンを押す

「確認」のパスワード入力画面になります。



4 何も入力せずに決定ボタンを押す

“パスワードを変更しました” のメッセージが表示されますので、決定ボタンを押してください。

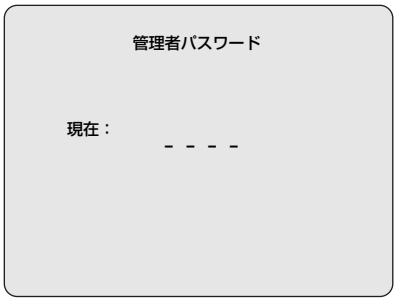
終了/再生停止ボタンをくり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

■パスワード入力の復帰

1 メニューボタンを押し、「管理者用設定」を選び、決定ボタンを押す

2 コントロールボタン（∧∨）で「管理者パスワード」を選び、決定ボタンを押す

「現在」のパスワード入力画面が表示されます。

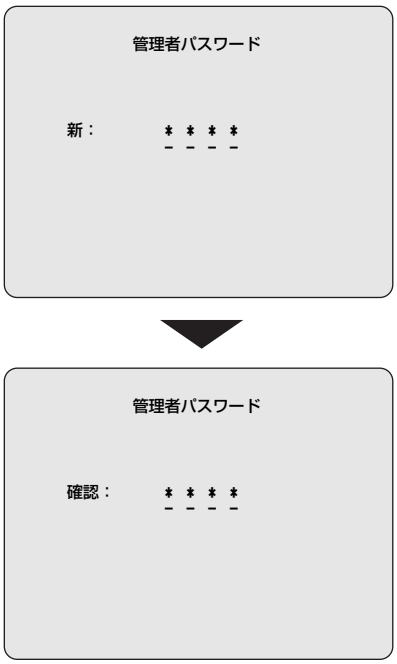


3 何も入力せずに決定ボタンを押す

「新」のパスワード入力画面になります。

4 カメラ選択ボタンで新しいパスワードを入力し、決定ボタンを押す

「確認」のパスワード入力画面になります。



5 カメラ選択ボタン（1/2/3/4）で、「新」と同じパスワードを入力し、決定ボタンを押す

“パスワードを変更しました” のメッセージが表示されますので、決定ボタンを押してください。

終了/再生停止ボタンをくり返し押すと、ライブ画面に戻ります。

E ネットワークパスワードの設定

ネットワーク使用者を制限するためのパスワードを設定できます。初期値は**「1111」**です。

1 コントロールボタン（∧∨）で「ネットワークパスワード」を選び、決定ボタンを押す

「現在」画面が表示されます。

2 以下の設定方法は、「管理者パスワードの設定」と同じです。

F 日付の形式の設定

「日時の設定」を参照ください。（P13）

G 時刻設定

「日時の設定」を参照ください。（P13）

H カメラコントロール設定

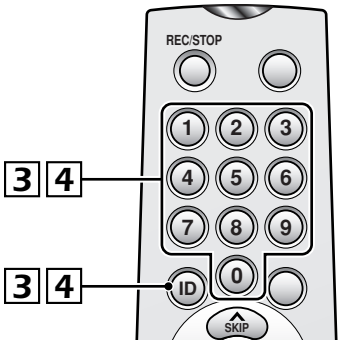
「PTZカメラの操作」を参照ください（P17）

I 言語設定

「表示言語の設定」を参照ください。（P15）

J リモコンIDの設定

本機を複数接続した場合は、付属のリモコンにID番号を設定し、専用リモコンとして使用することができます。
初期値は「0」で、モニター画面上にはリモコン表示が表示され、常にリモコン操作ができます。



■本機をリモコンID（例：4）で操作する

1 コントロールボタン（∧∨）で「リモコンID」を選び、コントロールボタン（<>）でID番号（例：4）を選択する

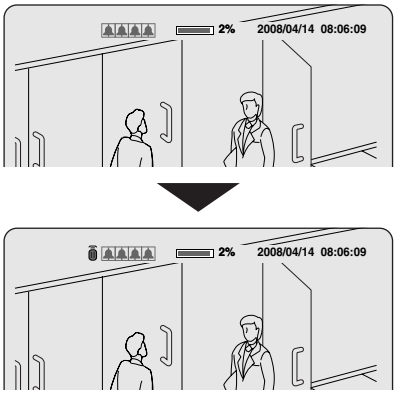
選択：0/1/2/・・・8/9

2 終了/再生停止ボタンをくり返し押して、ライブ画面にする

3 リモコンのIDボタンを押して、数字ボタンの4以外を押す

ライブ画面のリモコン表示が消え、リモコンでの操作ができなくなります。

4 リモコンのIDボタンを押して、数字ボタンの4を押す

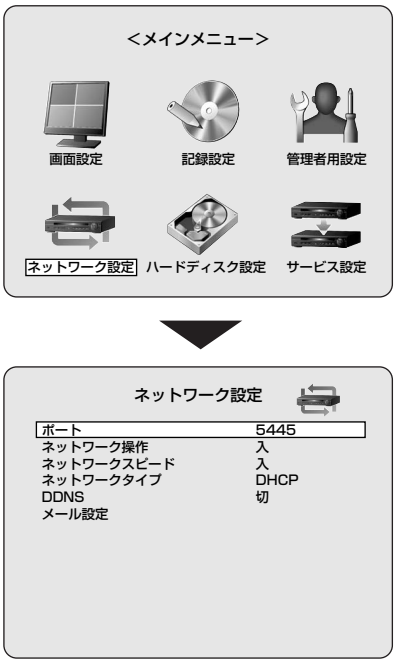


リモコン表示が再度表示し、管理者用設定で設定したID番号4で本機が操作できるようになります。

リモコンを初期値（0）に戻すときは、IDボタンを押して「0」を押してください。管理者用設定のID番号に関係なく操作できます。

ネットワーク設定

メニューボタンを押して、パスワードを入力してください。(P30)
<メインメニュー>が表示されますので、コントロールボタン (∧∨<>) で**「ネットワーク設定」**を選択してください。

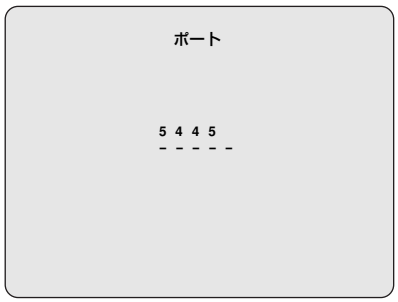


A ポートの設定

本機を複数台ネットワークに接続している場合は、固有のポート番号を設定してください。

1 コントロールボタン (∧∨) で「ポート」を選び、決定ボタンを押す

ポート画面が表示されます。初期値は5445です。



2 コントロールボタン (∧∨) で数値を選び、コントロールボタン (<>) で移動させ、くり返し操作でポート番号を選択する

3 終わるときは、終了/再生停止ボタンを押す

B ネットワーク操作の設定

外部のパソコンから操作する/しないを設定できます。

コントロールボタン (∧∨) で「ネットワーク操作」を選び、コントロールボタン (<>) で "入" を設定する

入：付属専用ソフトでパソコンからアクセスをおこなう
切：アクセスをさせない

C ネットワークスピードの設定

お使いのネットワーク帯域幅がライブ映像の監視に充分でない場合に設定してください。

コントロールボタン (∧∨) で「ネットワークスピード」を選び、コントロールボタン (<>) で設定する

入：ライブの映像がコマ送りになる（1秒1枚程度）
切：ネットワーク帯域幅を制限しない

D ネットワークタイプの設定

接続するネットワークのタイプを選び、各設定をおこなってください。必要な情報はネットワーク管理者に確認してください。

1 コントロールボタン（∧∨）で「ネットワークタイプ」を選ぶ

2 コントロールボタン（∧∨）でタイプを選ぶ

● DHCP　● ADSL　● LAN

■ DHCPを選択した場合

IPアドレスなどは自動的に割り当てられますので、設定の必要はありません。

■ ADSLを選択した場合

①コントロールボタン（∧∨）で「ログインID」を選び、決定ボタンを押す

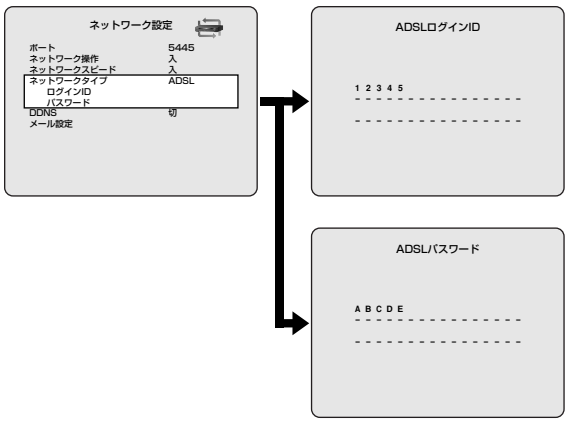
「ADSLログインID」入力画面が表示されます。

②コントロールボタン（∧∨）でID番号を変更して、コントロールボタン（＜＞）でカーソルを右へ移動をくり返し、決定ボタンを押す

「ネットワーク設定」画面に戻ります。

③コントロールボタン（∧∨）で「パスワード」を選び、決定ボタンを押す

「ADSLパスワード」入力画面が表示されます。



④コントロールボタン（∧∨）で「A：例」を表示させ、コントロールボタン（＜＞）で右に移動をくり返し表示させ決定ボタンを押す

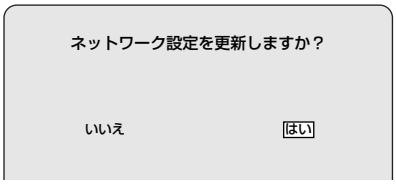
「ネットワーク設定」画面に戻ります。

⑤終了/再生停止ボタンを押す

「ネットワーク設定を更新しますか？」画面が表示されます。

⑥コントロールボタン（＜＞）で「はい」を選び、決定ボタンを押す

設定を完了し、再起動してライブ映像になります。



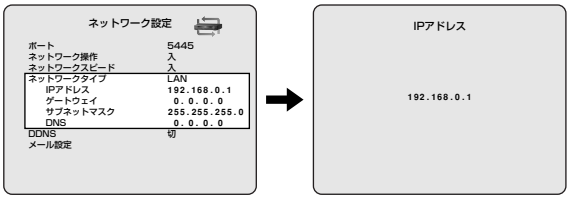
■ LANを選択した場合

①コントロールボタン（∧∨）で「IPアドレス」を選び、決定ボタンを押す

「IPアドレス」入力画面が表示されます。

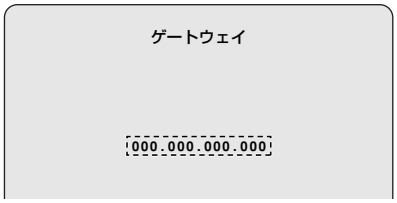
②コントロールボタン（∧∨）でIP番号を変更して、コントロールボタン（＜＞）でカーソルを右へ移動をくり返し、決定ボタンを押す

「ネットワーク設定」画面に戻ります。



③②をくり返して必要に応じて下記を変更する

● ゲートウェイ



● サブネットマスク

● DNS

④終了/再生停止ボタンを押す

「ネットワーク設定を更新しますか？」画面が表示されます。

⑤コントロールボタン（＜＞）で「はい」を選び、決定ボタンを押す

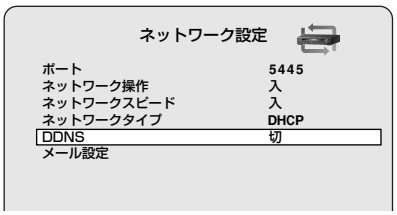
設定を完了し、再起動してライブ映像になります。

E DDNSの設定

当社のDDNSサービスをご利用になる場合は、ドメイン名を登録しDDNSサーバーの設定をおこなってください。

1 コントロールボタン（∧∨）で「DDNS」を選び、コントロールボタン（<>）で「SANYO」を選択する

「DDNS設定」のメニューが表示されます。



切：DDNSサーバーを使用しない

SANYO：当社のDDNSサーバーを使用する

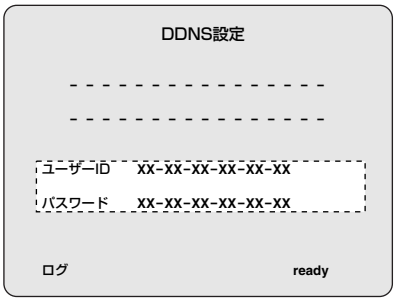
ETC：他社のDDNSサーバーを使用する（お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にご相談ください。）

2 コントロールボタン（∧∨）で「DDNS設定」を選び、決定ボタンを押す

DDNS設定画面が表示されます。

3 画面に表示されている「ユーザーID」と「パスワード」を確認する

ドメイン名を登録する際に必要ですので、書き留めてください。



4 パソコンでInternet Explorerを起動し、当社のDDNSサービスのサイトにアクセスする

次のアドレスを入力すると、DDNSサービスのログイン画面が表示されます。

https://www.ddns-sanyosecurity.com

5 DDNS設定画面で確認した「ユーザーID」と「パスワード」を入力し、ログインボタンをクリックする

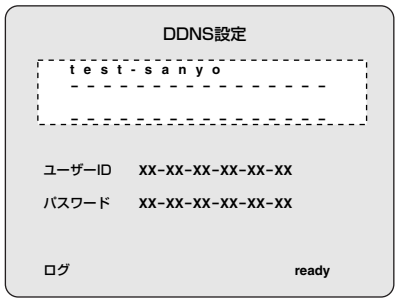
ドメイン名の登録画面が表示されます。

6 使用するドメイン名を入力し、登録ボタンをクリックする

DDNSサーバーにドメイン名が登録されます。

7 本機のDDNS設定画面に戻り、登録したドメイン名を入力する

コントロールボタン（<>）で入力位置を選択し、コントロールボタン（∧∨）で文字を選択してください。



8 決定ボタンを押す

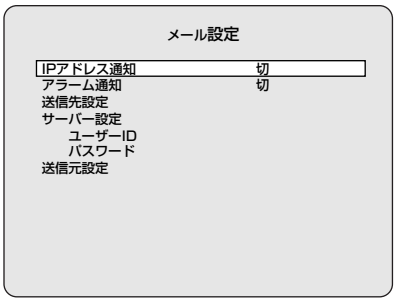
DDNSの設定を完了し、ネットワーク設定画面に戻ります。

F メール設定

指定したメールアドレスにメールを送信することができます。

1 コントロールボタン（∧∨）で「メール設定」を選び、決定ボタンを押す

「メール設定」画面が表示されます。



2 コントロールボタン（∧∨）で下記の項目を選び、コントロールボタン（＜＞）で設定する

●IPアドレス通知

入：本機のIPアドレスが変更になるとメールを送信する

切：メールを送信しない

●**アラーム通知**：

切：アラームイベントが発生しても通知メールを送信しない

外部センサー録画：本機の外部センサー端子（SENSOR）に接続したセンサー機器などが反応したときに通知メールを送信する

モーション記録：本機内蔵のモーションセンサーが動きを検知したときに通知メールを送信する

ALL：外部センサーまたは内蔵モーションセンサーのいずれかが反応すると通知メールを送信する

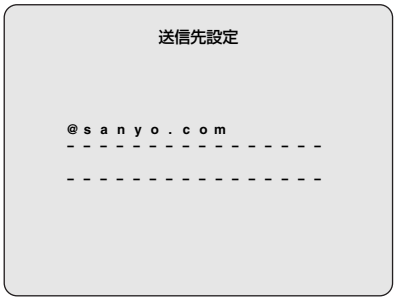
3 コントロールボタン（∧∨）で下記の項目を選び、コントロールボタン（＜＞）でメールアドレスなどを設定する

再度決定を押すと「メール設定」の画面に戻ります。

●**送信先設定**

メールアドレスを設定する。

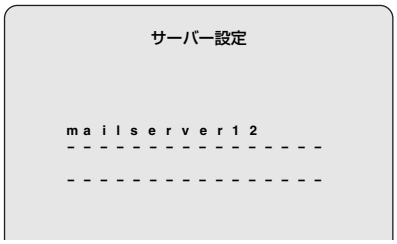
表示例



●**サーバー設定**

メールのサーバー名を設定し、ユーザーIDとパスワードを設定する。

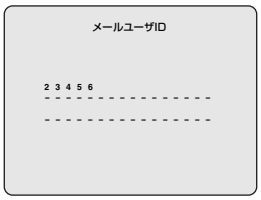
表示例

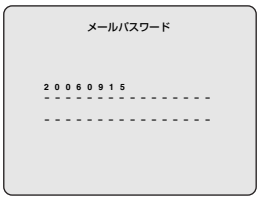


ユーザーID：使用するメールサーバーなどの接続ユーザーIDを設定する。

パスワード：使用するインターネットなどの接続パスワードを設定する。

表示例





●**送信元設定**

送信先に通知する送信元のメールアドレスを設定する。

表示例

4 決定ボタンを押す

「メール設定」画面に戻ります。

5 終了/再生停止ボタンを2度押す

「ネットワーク設定」画面に戻り、「ネットワーク設定を更新しますか？」画面が表示されます。

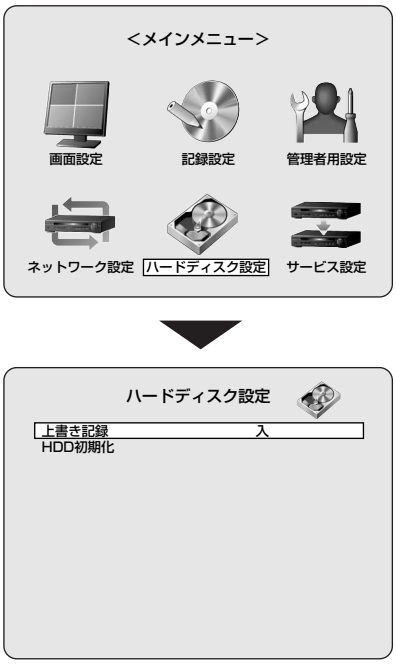
6 登録をおこなう場合は、コントロールボタン（＜＞）で「はい」を選び、決定ボタンを押す

設定を完了し、再起動してライブ映像になります。

- 再生中、バックアップ中、メニュー設定中はメール送信されません。
- メール送信中は次のメールを送信できません。そのため、短い間隔でメール送信の条件が発生した場合は、メールが送信されないことがあります。

ハードディスク設定

メニューボタンを押して、パスワードを入力してください。(P30)
<メインメニュー>が表示されますので、コントロールボタン (∧∨<>) で**「ハードディスク設定」**を選択してください。



A 上書き記録の設定

ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、古い映像に上書きして録画を継続するかの設定ができます。

上書きを設定する場合は、必要な映像は外部メモリーなどに保存してください。(P27)

コントロールボタン (∧∨) で「上書き記録」を選び、コントロールボタン (<>) で設定する

入：容量がいっぱいになると、上書きして録画を続ける

切：容量がいっぱいになると録画を停止する

B HDD初期化設定

内蔵のハードディスクを初期化します。

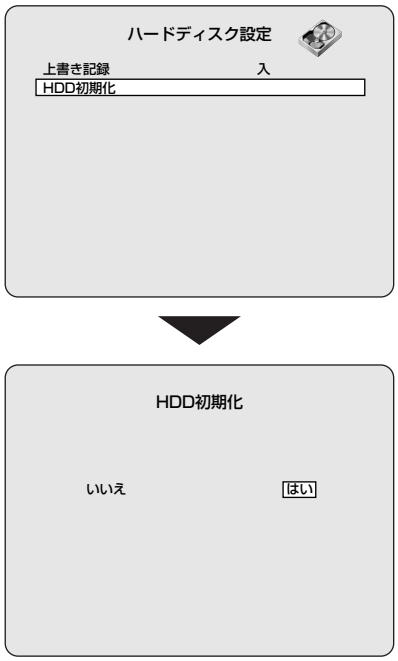
すべての映像は失われます。設定をおこなう前に、必要な映像は外部メモリーなどに保存してください。(P27)

1 コントロールボタン (∧∨) で「HDD初期化」を選び、決定ボタンを押す

「HDD初期化」画面が表示されます。

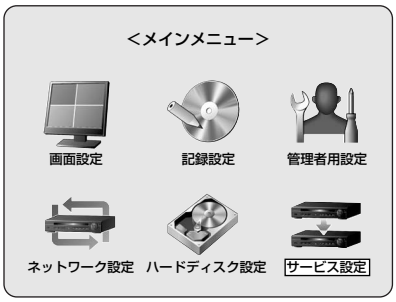
2 コントロールボタン (<>) で「はい」を選び、決定ボタンを押す

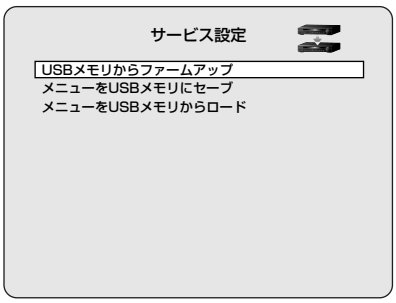
「初期化中…」を表示し、フォーマットが始まります。フォーマットが終わると、再起動してライブ映像に戻ります。

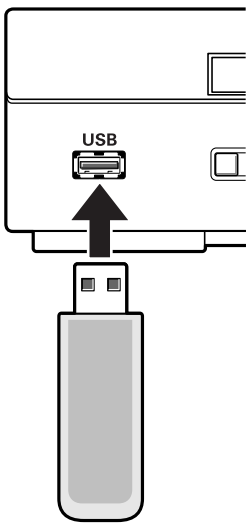


サービス設定

メニューボタンを押して、パスワードを入力してください。(P30)
<メインメニュー>が表示されますので、コントロールボタン (∧∨<>) で**「サービス設定」**を選択してください。







A USBメモリからファームアップの設定

サービスモードです。

B メニューをUSBメモリにセーブする

USBメモリなどに、本機のメニュー設定を保存します。

1 **USB端子にUSBメモリを接続する**

2 **コントロールボタン (∧∨) で「メニューをUSBメモリにセーブ」を選び、決定ボタンを押す**

承認画面が表示します。

3 **コントロールボタン (<>) で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

「コピー完了」が表示され、保存が終わると、「サービス設定」画面になります。

メモ コピーしたメニューのフォルダ名
CONFIG-setup4.cfg

C メニューをUSBメモリからロードする

USBメモリなどに保存した本機の設定を、本機やほかの同機器に呼び出すことができます。

1 **USB端子に、メニュー設定を記録したUSBメモリを接続する**

2 **コントロールボタン (∧∨) で「メニューをUSBメモリからロード」を選び、決定ボタンを押す**

承認画面が表示します。

3 **コントロールボタン (<>) で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

「ロード成功」が表示され、再起動してライブ映像になります。

ネットワークで操作するには

付属のネットワーク操作用ソフトウェア “Sanyo DVR Utility 2000S” を使うと、本機をパソコンの画面から操作することができます。
ネットワーク操作をおこなう場合は、あらかじめ以下の準備をおこなってください。

接続と設定

- **ネットワーク接続：**
  本機とパソコンをLANまたはインターネットで接続してください。(P11)
- **ネットワーク設定：**
  本機のネットワーク設定画面で、接続条件などを設定してください。(P39)

- パソコンのIPアドレス等も接続条件を合わせることが必要です。
- 1台のDVRにパソコンは4台までしか接続できません。

動作環境

- **CPU：**Intel Pentium4 1.2GHz以上
- **メモリー：**
  Vistaの場合、512MB以上 (推奨：1GB以上)
  XPの場合、256MB以上 (推奨：512MB以上)
- **VGA：**16MB (推奨：64MB)
- **解像度：**1024×768
- **ディスク容量：**
  10MB
  (本ソフトウェアで録画する場合は2.1GB以上)
- **オペレーティングシステム：**
  Windows Vista、
  Windows XP Professional SP2/XP Home
  Direct X：Direct X 8.1以上

“Sanyo DVR Utility 2000S”のインストール

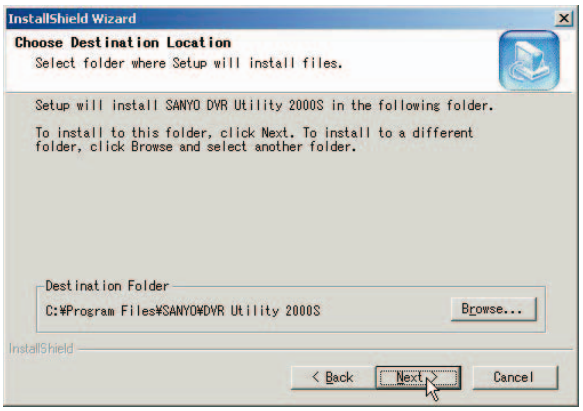
画面との対話形式でインストールしてください。

1 付属のCD-ROMをパソコンのドライブにセットして、“Sanyo Client.exe” をダブルクリックする

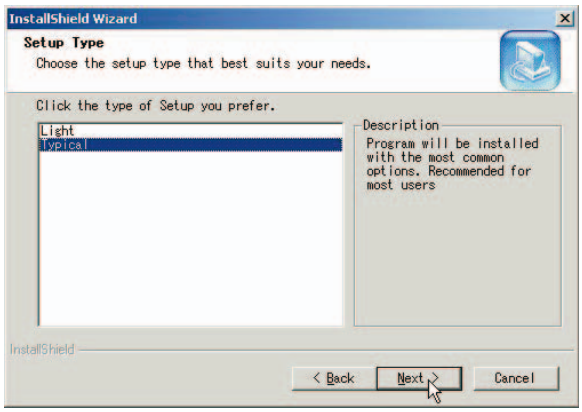
インストーラーが起動します。

2 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダを確認して [Next] をクリックする

インストール先のフォルダを変更する場合は、[Browse] をクリックしてフォルダを選択してください。


InstallShield Wizard
Choose Destination Location
Select folder where Setup will install files.
Setup will install SANYO DVR Utility 2000S in the following folder.
To install to this folder, click Next. To install to a different folder, click Browse and select another folder.
Destination Folder
C:¥Program Files¥SANYO¥DVR Utility 2000S
Browse...
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

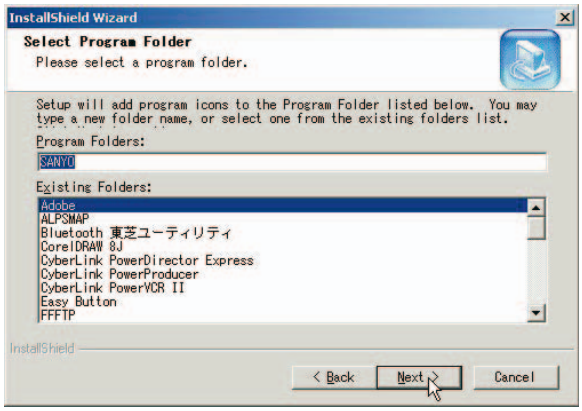
3 「Setup Type」画面でセットアップ方式を選択して [Next] をクリックする



通常は **“Typical”** を選択してください。PCの性能によっては動作しないことがあります。その場合は **“Light”** を再インストールしてください。
“Light” をインストールした場合は、一部機能（音声等）が制限を受けることがあります。

4 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダを確認して [Next] をクリックする

プログラムフォルダを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは [Existing Folders] のリストから選択してください。



5 インストールの開始

「Setup Status」 画面にインストールの進行状況が表示されます。

6 インストールの終了

インストールが終了すると、**“DVR Utility 2000S”** のショートカットアイコンがデスクトップに表示されます。

このアイコンをダブルクリックすると、本ソフトウェアが起動します。

アンインストールするには

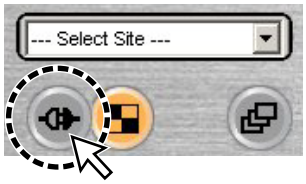
コントロールパネルの [Add or Remove Programs] で **“SANYO DVR Utility 2000S”** を指定してアンインストールしてください。

本機に接続する

デスクトップのショートカットアイコン（ ）をダブルクリックすると、本ソフトウェアが起動しメイン画面が表示されます。以下の手順で本機に接続すると、カメラのライブ映像が表示されます。

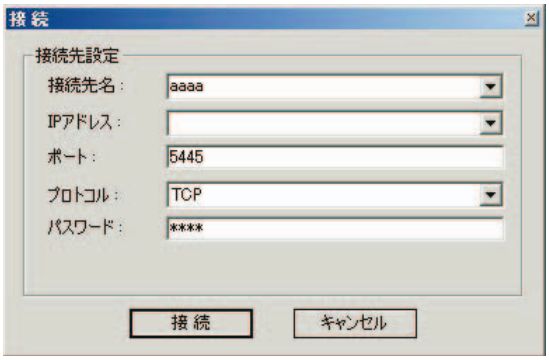
■初めて接続するには

1 操作パネルの接続ボタンをクリックする



接続用の［接続］ダイアログが表示されます。

2 接続に必要なアドレス情報などを入力する



- **接続先名：**
  本機に、管理用の名称を設定してください。
- **IPアドレス/ポート：**
  本機のネットワーク設定画面で設定したIPアドレスとポート番号を入力してください。（P40）
  DDNSを使用する場合は、設定したドメイン名を［IP アドレス］に入力してください。
- **プロトコル：**
  プロトコル（TCP/UDP）を選択してください。
- **パスワード：**
  本機の管理者用設定画面で設定したネットワークパスワードを入力してください。

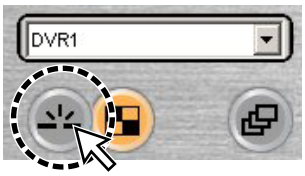
- DVRに初めてネットワーク接続する場合は、［接続先名］を必ず入力してください。空欄の場合は接続できません。
- ネットワーク設定画面の「ネットワーク操作」が“入”に設定されていないと、本機に接続できません。（P39）

3 ［接続］ダイアログの［接続］をクリックする

本機に接続して、カメラのライブ映像がメイン画面に表示されます。

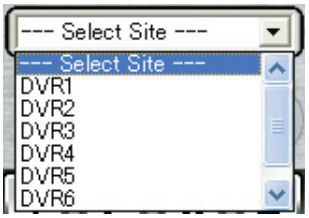
■接続を切断するには

本機に接続すると、操作パネルの**接続ボタン**の表示が**切断ボタン**に切り換わります。
このボタンをクリックすると、本機との接続が切断され、表示されていた映像が消えます。



■接続先が複数ある場合は

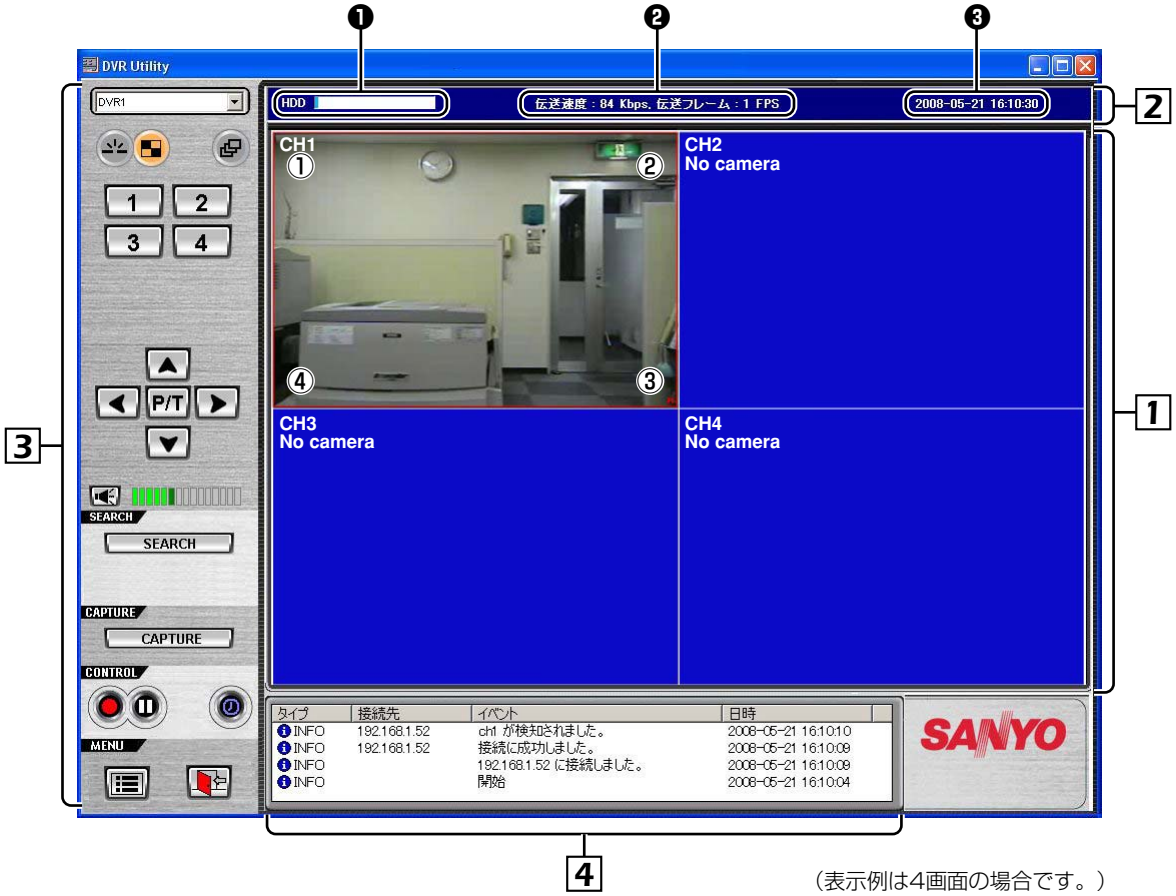
本機との接続情報は、［---Select Site---］のプルダウンメニューにサイト名で一覧表示されます。
接続先を変更する場合は、プルダウンメニューでサイト名を選択しクリックしてください。現在の接続を切断し、指定のサイトに自動的に接続します。



メモ
- 接続ボタンを使って接続先を変更する場合は、切断ボタンで現在の接続を一旦切断してから新たに接続の操作をおこなってください。
- 登録された接続情報は、セットアップメニューの［接続先］で、追加、変更、削除などの編集ができます。

メイン画面の構成と各部のはたらき

本機に接続すると、メイン画面にカメラのライブ映像が表示されます。



（表示例は4画面の場合です。）

1 映像表示部

ライブ映像や再生映像を表示します。

＜画面の表示方法＞

画面上のボタン操作で切り換えることができます。(P50)

- 1画面
- 4画面
- シーケンス（カメラ切換）表示
- フルスクリーン表示

＜カメラ情報＞

各カメラ映像には、以下のカメラ情報が表示されます。

①（左上）：

- **カメラチャンネル（CH1～4）**
- **カメラ名称**
  セットアップメニューの**カメラ名称設定画面**で設定してください。(P57)
  （カメラが接続していないチャンネルには“No Camera”の文字が表示されます。）

②（右上）：

M：モーション検知による録画中（P19）
S：センサー検知による録画中（P20）

③（右下）：

R：リアルタイムなどで録画中（P18）

④（左下）：

A：アラーム出力中（P49）

2 情報表示部

以下の情報が表示されます。

❶本機のハードディスクの使用容量

❷通信速度レートと伝送フレームレート
表示する場合は、セットアップメニューの一般設定画面で設定してください。(P56)

❸日時情報
ライブ映像の場合：現在日時
再生映像の場合：録画日時

3 操作パネル（P49）

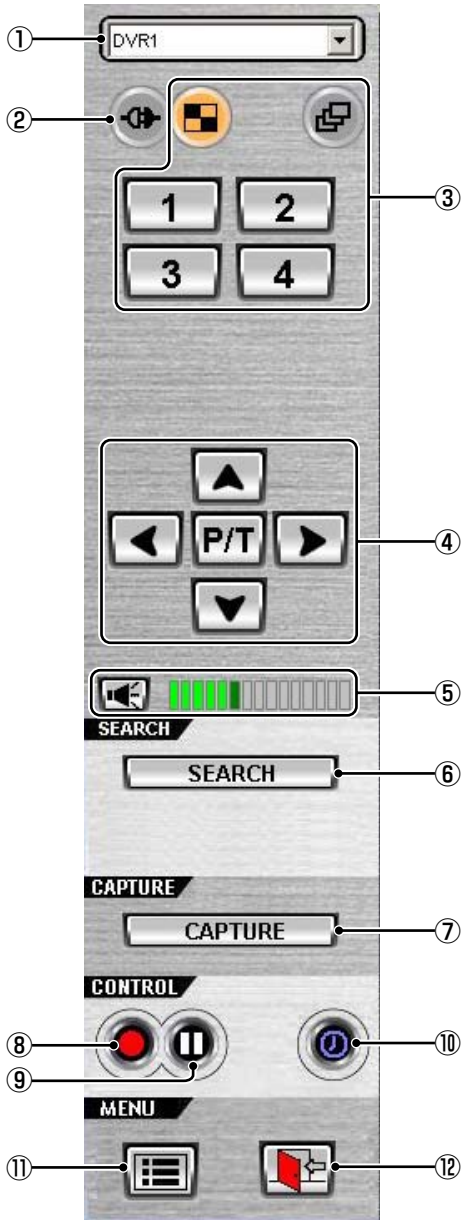
監視用の操作ボタンがパネルに配置されています。

4 ログウィンドウ

操作履歴が一覧で表示されます。
表示項目：タイプ、接続先、イベント、日時

メモ 操作パネルの［SEARCH］をクリックすると画面がサーチモードに切り換わり、操作パネルの一部とログウィンドウ部分の表示が変わります。(P53)

操作パネルの機能



SW：線で結ばれたボタンは、クリックによってボタンの機能が交互に切り換わります。

①接続先の切換（Select Site）

接続先を変更する場合は、プルダウンメニューで接続先の名前を選択してください。
（通常は接続中の名前が表示されます。）

②接続／切断ボタン

SW
- ：接続用の［接続］ダイアログを表示する（P47）
- ：接続を切断する

③表示画面の切換ボタン（P50）

- ：4画面表示へ
- ：シーケンス（カメラ切換）表示へ
- 1 ～ 4 ：チャンネルを選択して1画面表示へ

④カメラコントローラー（PTZカメラにのみ対応）

コントローラーのボタン（P/T / Z/F）をクリックすると、コントローラーの表示が切り換わります。（P52）

SW
- P/T ：パン／チルト操作用
- N / W Z/F T / F ：ズーム／フォーカス操作

⑤音声コントローラー

ライブ映像や再生映像の音声出力を調整します。

SW
- ：音声を出力しない
- ：音声を出力する

ボリューム：出力音量を調整する

⑥［SEARCH］ボタン

メイン画面をサーチモードに切り換える（P53）

⑦［CAPTURE］ボタン

画像イメージを保存する（P52）

⑧録画ボタン（P51）

SW
- ：録画機能を入にする（パソコンのハードディスクに録画する）
- ：録画機能を切にする

⑨静止ボタン（P51）

SW
- ：パソコンのライブ映像を静止する
- ：パソコンの静止画像を解除する

⑩アラーム出力切換ボタン

- ：本機後面パネルのアラーム出力端子（OUT）にアラームを出力するかしないかを切り換える（アラーム出力中は赤く点灯）

⑪メニューボタン

- ：セットアップメニュー画面（設定）を表示する（P56）

⑫終了ボタン

- ：ソフトウェアを終了して、画面を閉じる

メイン画面の基本操作

A 画面の表示方法を切り換える

ライブ映像や再生映像の表示方法を選択できます。

■4画面から1画面へ

操作パネルのチャンネル選択ボタンをクリック、または画面を1つ選択してダブルクリックしてください。
指定したカメラの映像を1画面で表示します。

■1画面から4画面へ

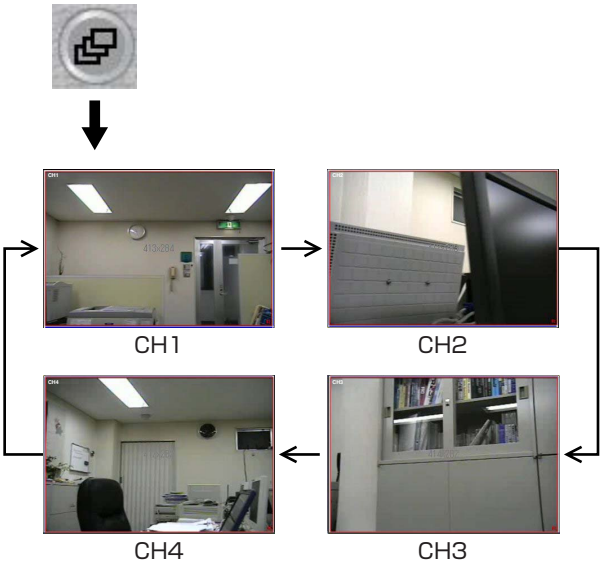
操作パネルの4画面ボタンをクリック、または画面をダブルクリックしてください。
本機に接続する4台のカメラ映像を4分割画面で同時に表示します。

メモ 4画面表示の場合は、カメラ映像を1つ選択してクリックすると赤い枠が表示され、そのカメラが選択されたことを示します。
4画面で以下の操作をおこなう場合は、カメラの選択が必要です。

- 画像イメージの保存 (P52)
- PTZカメラの操作 (P52)
- 音声の出力切り換え (P49)

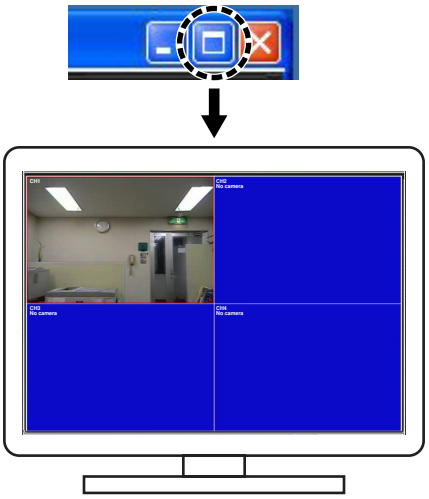
■シーケンス（カメラ切換）表示へ

1画面表示の状態で、操作パネルのシーケンスボタンをクリックしてください。
本機に接続されている4台のカメラ映像を、チャンネル番号順に連続表示します。
ボタンを再クリックすると、シーケンス表示を停止して通常の1画面表示に戻ります。



■フルスクリーン表示へ

タイトルバーの右端の最大化ボタンをクリックしてください。
操作パネルなどの表示がすべて省かれ、映像部分だけを最大の領域で表示します。



[Esc] キーを押すと、フルスクリーンから標準画面に戻ります。

フルスクリーンでは操作パネルが表示されませんので、画面のダブルクリックによる表示切り換え（1画面⇔4画面）以外の操作はできません。

B ライブ映像を録画する

■録画方法

本ソフトウェアでは、カメラのライブ映像を次の2つのモードで録画することができます。自動録画の設定も可能です。

＜録画モード＞

- **常時：**
  操作パネルの録画ボタンを入にすると録画をおこなう
- **イベント：**
  操作パネルの録画ボタンを入にすると録画待機の状態になり、指定のイベントが発生すると録画をおこなう

＜自動記録開始＞

自動記録開始を選択すると、DVR Utility 2000Sを立ち上げるたびにすぐに録画ボタンが入の状態となります。操作パネルの録画ボタンを操作しなくても、選択した録画モードで自動的に録画をおこないます。

メモ
- 録画モードの選択や自動記録開始の設定は、セットアップメニューの記録設定画面で設定してください。(P59)
- ネットワーク操作による録画映像は、すべてパソコンのハードディスクに保存されます。保存条件は、セットアップメニューの記録保存設定画面で設定してください。(P59)
- 音声は記録されません。

■録画機能の切り換え

操作パネルの録画ボタンで、録画機能の入/切を切り換えます。

1 操作パネルの録画ボタンをクリックする

録画機能が入になり、ボタンの表示が停止用に切り換わります。

録画機能を入にすると、録画モードに応じて録画が可能になります。

- **常時モードの場合：**
  パソコンのハードディスクに録画を開始する
- **イベントモードの場合：**
  録画待機の状態になり、指定のイベントが発生するとパソコンのハードディスクに録画を開始する

2 録画機能を停止するには

操作パネルの録画ボタン（停止用）をクリックしてください。

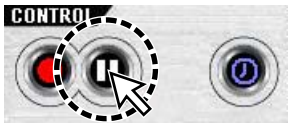
- **常時モードの場合：**録画を停止する
- **イベントモードの場合：**録画待機の状態を解除する

C ライブ映像を静止画像にする

ライブ映像の動きを停止し、静止画像で見ることができます。

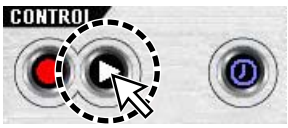
1 操作パネルの静止ボタンをクリックする

ライブ映像が静止画像になり、静止ボタンの表示が静止解除ボタンに切り換わります。



2 静止を解除するときは

操作パネルの静止解除ボタンをクリックしてください。



ライブ映像が動画に戻ります。

D 音声を出力する

ライブ映像や再生映像の音声をパソコンと本体に出力できます。

1 操作パネルの音声ボタンをクリックする

音声を出力し、ボタンの表示が出力停止用に切り換わります。

出力音量は、[ボリューム] をドラッグ＆ドロップして調整してください。

パソコンにマイクが接続されて、音声ボタンがアクティブになっていると、本体DVR側にパソコンのマイク音が出力されますので注意してください。

2 音声の出力を止めるときは

操作パネルの音声ボタンをクリックしてください。

E 画像イメージを保存する

画面に表示されているライブ映像や再生映像の画像イメージを、パソコンに静止画像で保存することができます。

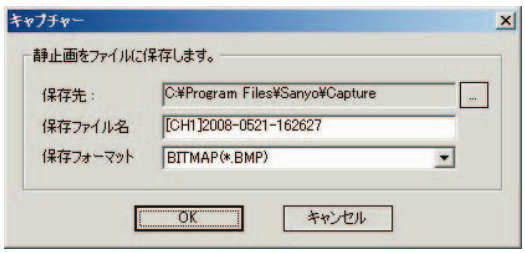
1 保存したいカメラ映像を選択する

4画面表示の場合は、カメラ映像を1つ選択してクリック（選択された映像には赤い枠が表示されます）、またはダブルクリックして1画面表示に切り換えてください。

2 操作パネルの [CAPTURE] をクリックする

[キャプチャー] ダイアログが表示されます。

3 ダイアログで保存条件を設定する



①保存先：
セットアップメニューの一般設定画面で設定されたパスが表示されます。(P56)

②保存ファイル名：
変更する場合は、ボックスに入力してください。

③保存フォーマット：
JPEGとBITMAPの選択が可能です。

4 [キャプチャー] ダイアログの [OK] をクリックする

[CAPTURE] をクリックした時点の画像イメージが1枚保存されます。

F PTZカメラを操作する

本機にPTZカメラを接続している場合は、パソコンからカメラを遠隔操作することがができます。

1 本機側でメニュー設定する

本機のメニュー設定の管理者用設定画面で、カメラコントロールの設定をしてください。(P17)

2 ライブ映像を表示して、操作するカメラを指定する

4画面表示の場合は、カメラ映像を1つ選択してクリック（選択された映像には赤い枠が表示されます）、またはダブルクリックして1画面表示に切り換えてください。

3 操作パネルのカメラコントローラーで操作する

コントローラーのボタン（P/T / Z/F）をクリックすると、コントローラーの表示が切り換わります。

■パン／チルト操作用

▲ ▼：チルトを調整する
◀ ▶：パンを調整する
P/T：コントローラーのボタンをズーム／フォーカス操作用に切り換える

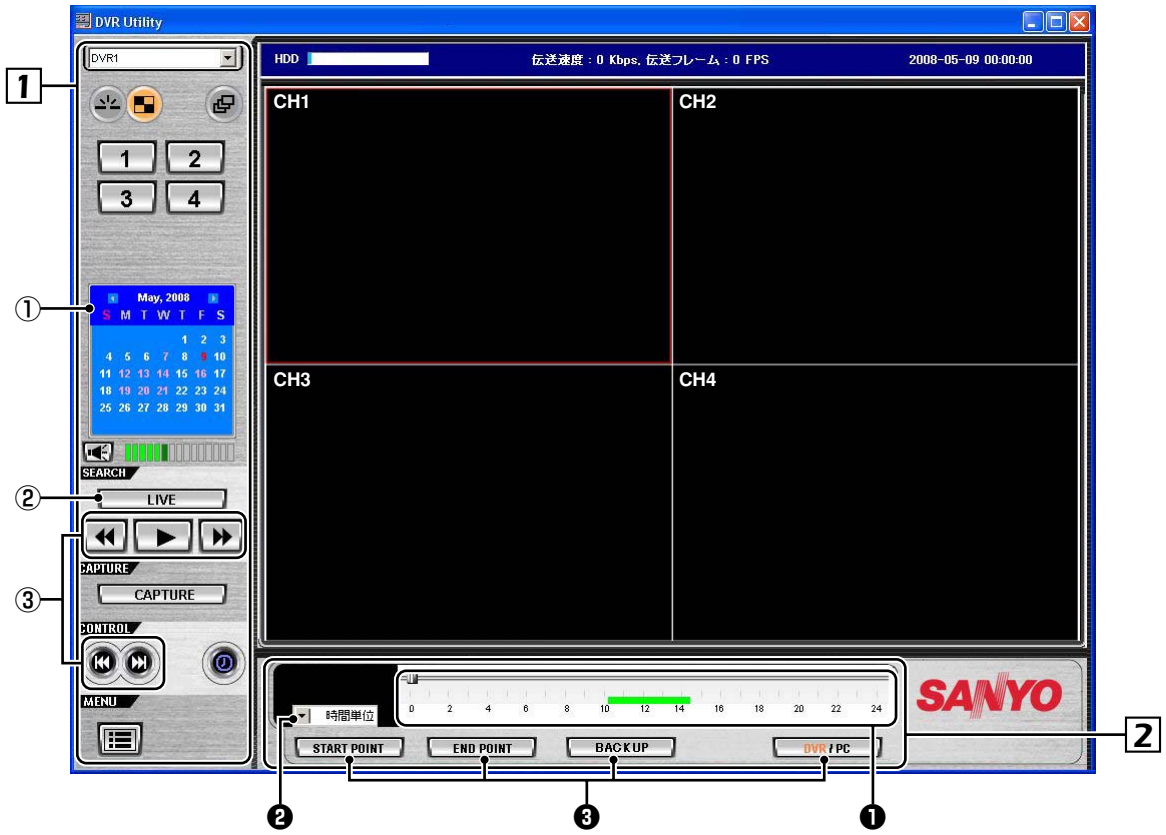
■ズーム／フォーカス操作用

T W：ズームを調整する
N F：フォーカスを調整する
Z/F：コントローラーのボタンをパン／チルト操作用に切り換える

- 本機はボタンを押している間、動作しますが、本機の動作状況により、ボタンをはなしてから動作が終了するまでの時間が長くなることがあります。(2秒程度)
- カメラとの通信状況によりボタン操作を受け付けないことがあります。

サーチモードでの操作

操作パネルの [SEARCH] をクリックすると、画面の表示がサーチモードに切り換わります。サーチモードでは操作パネルの一部とログウィンドウ部分の表示が変わり、本機やパソコンに録画された映像の検索やバックアップの操作ができます。



1 操作パネルの機能

サーチモードでは、次の操作ボタンが表示されます。

①カレンダー

検索する映像の日付を指定します。

② [LIVE] ボタン

サーチモードを解除して、ライブ映像に戻ります。

③再生操作ボタン

検索した映像を再生します。

：逆再生／早戻しする
ボタンをクリックするごとに再生速度が変わります。(1、2、4倍速)

SW ：再生する

SW ：一時停止して静止画像にする

：早送りする
ボタンをクリックするごとに再生速度が変わります。(2、4、8倍速)

：一時停止中にボタンを押すと画像をコマ戻しする
または、再生中にボタンを押すと画像を1分戻す

：一時停止中にボタンを押すと画像をコマ送りする
または、再生中にボタンを押すと画像を1分進める

2 タイムスケールパネルの機能

ログウィンドウに代えて、映像検索用のスケールとバックアップ用の操作ボタンが表示されます。

❶タイムスケール

再生動作に合わせてスライドノブがスケール上を移動します。
スライドノブを左右にドラッグ＆ドロップするか、あるいはスケール上をクリックすると再生ポイントが移動します。

❷表示単位

スケールの目盛りの単位を切り換えます。

- **時間単位**：1時間×24目盛り
- **分単位**：5分×12目盛り

❸バックアップ操作ボタン

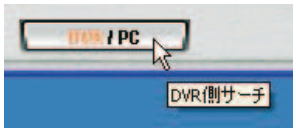
- START POINT：
  バックアップする画像範囲の開始点を設定します。
- END POINT：
  バックアップする画像範囲の終了点を設定します。
- BACK UP：バックアップを実行します。
- DVR/PC：
  録画映像の検索先（本機／パソコン）を切り換えます。

A 録画した映像を検索して再生する

本機やパソコンに録画された映像を、日時で検索して再生することができます。

1 検索先（DVR／PC）を選択する

DVR（本機）の録画映像を検索するのか、あるいはパソコンの録画映像を検索するのかを選択してください。
タイムスケールパネルの［DVR/PC］をクリックすると、検索先が交互に切り換わります。



現在選択されている検索先は、ボタンの表示で確認できます。

- DVR：
  DVR（本機）に録画されている映像を検索する
- PC：
  パソコンに録画されている映像を検索する

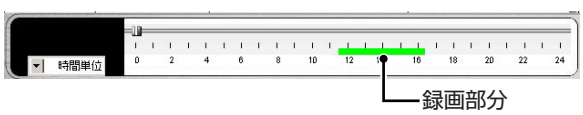
2 カレンダーで、検索する映像の録画された日付をクリックして指定する

選択した日付に録画映像がある場合は、日付が赤文字で表示されます。

／をクリックすると、カレンダーの表示が前月／次月に切り換わります。

3 タイムスケールで録画映像のある時間帯を確認する

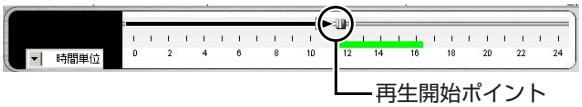
録画映像がある場合は、スケール上に緑色のラインで表示されます。



メモ スケールの表示単位を［時間］から［分］に切り換えると、録画映像のある時間帯をさらに絞り込むことができます。

4 再生開始ポイントを指定する

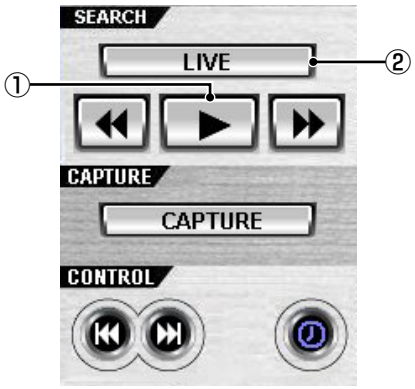
タイムスケールのスライドノブをドラッグ＆ドロップして、再生開始ポイントに移動してください。



5 再生ボタン（①）をクリックする

再生を開始します。

再生中は、再生操作ボタンで、早送り、一時停止、コマ送りなどの操作ができます。（P53）



メモ
- 指定した再生開始ポイントに録画映像がない場合は、直後の録画映像までジャンプして再生を開始します。
- 画面の表示方法は、ライブ映像の場合と同様に、操作パネルのボタンで切り換えることができます。（P50）
- 本機の再生中は、ネットワークでの再生はできません。
- 録画を優先するため、早送り、早戻しの再生速度が表示より遅くなる場合があります。

6 再生操作を止めてライブ映像に戻すときは

操作パネルの［LIVE］（②）をクリックしてください。
ライブ映像に切り換わり、操作パネルなどの表示も標準モードに戻ります。

B DVRの録画映像をバックアップする

DVR（本機）に録画されている映像を、AVI形式でパソコンのハードディスクにバックアップすることができます。
以下の手順で、録画映像を検索し、映像範囲を指定してから、バックアップを実行してください。
手順1～3は、「録画した映像を検索して再生する（P54）」をご参照ください。

1 検索先（DVR／PC）を指定する

“DVR” に設定してください。

2 カレンダーをクリックして、検索する映像の日付を指定する

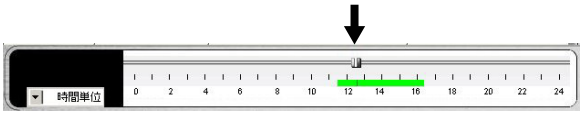
3 タイムスケールで録画映像のある時間帯を確認する

4 バックアップの開始ポイントを指定する

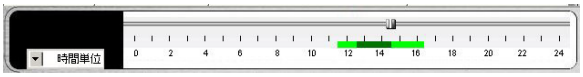
タイムスケールのスライドノブを開始ポイントに移動して [START POINT] をクリックしてください。

5 バックアップの終了ポイントを指定する

タイムスケールのスライドノブを終了ポイントに移動して [END POINT] をクリックしてください。
指定した画像範囲が濃い緑色のラインで表示されます。



[START POINT] をクリックする

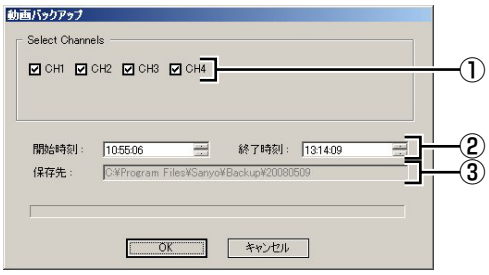


[END POINT] をクリックする

メモ
- 指定した画像範囲を取り消す場合は、[START POINT] を再度クリックしてください。
- 指定した画像範囲が短い場合は[BACKUP]をクリックした時に、取り消される場合があります。その場合は、長めに設定して[BACKUP]をクリックし、[動画BACKUP]ダイヤログで画像範囲を調整してください。

6 [BACKUP] をクリックする

[動画バックアップ] ダイアログのバックアップしたいチャンネルボックスにチェックを入れると指定のチャンネル映像をチャンネル番号順にバックアップします。



①Select Channels：
バックアップしたいチャンネルボックスにチェックを入れます。
但し、映像が録画されていないチャンネルはスキップします。

②開始時刻/終了時刻：
スピンボタンで変更できます。

③保存先：
セットアップメニューの一般設定画面で設定されたパスが表示されます。（P56）

7 [OK] をクリックする

指定した範囲の録画映像をパソコンにバックアップします。バックアップの進行状況は、ダイアログのプログレスゲージに表示されます。

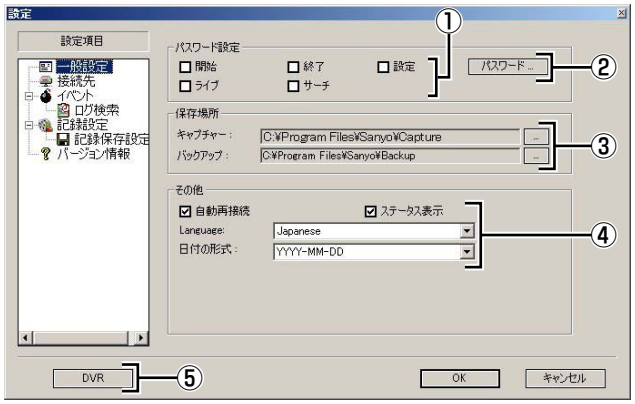
メモ
- 保存先のフォルダ名
  先頭画像の日付情報が挿入されます。
- 保存ファイル名
  （カメラのチャンネル番号）＋先頭画像の時刻情報
  例）
  [CH01] 08_30_08＝カメラ1の8時30分8秒からの録画映像
- バックアップした映像はAVI形式で保存され、Windows Media Player™など、AVI対応の映像再生ソフトで再生できます。
  それらのソフトで再生できない場合は、付属のCD-ROMからFFDShow（Codec）をインストールしてください。（P28）
  検索先を “PC” に設定することで、パソコンに録画された映像もバックアップできますが、一度に1チャンネル分しかバックアップできないなどの制限があります。

セットアップメニューの設定

操作パネルのメニューボタン（ ）をクリックすると**「設定」**画面が表示されます。この画面では、接続中のDVR（本機）の動作条件やネットワーク操作に関する各種の設定をおこないます。
画面左の［設定項目］のウィンドウでメニューをクリックすると、指定のメニュー画面が表示されます。

A 一般設定

セキュリティ機能、映像データの保存先、起動時の自動接続機能などを設定します。



①パスワード設定

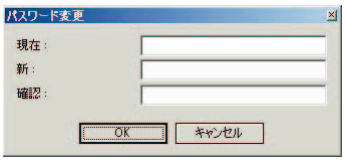
チェックボックスにチェックを入れると、それぞれの操作をおこなう際にパスワード入力が必要になります。

- **開始**：本ソフトウェアを起動する
- **終了**：本ソフトウェアを終了する
- **設定**：**「設定」**画面を表示する
- **ライブ**：ライブ映像を表示する
  （操作パネルの［LIVE］ボタンの操作）
- **サーチ**：メイン画面をサーチモードに切り換える
  （操作パネルの［SEARCH］ボタンの操作）

②パスワード

ボタンをクリックすると、［パスワード変更］ダイアログでパスワードを設定できます。

- **現在**：現在のパスワードを入力します。
- **新**：新しいパスワードを入力します。
- **確認**：確認のために、新しいパスワードを再入力します。
  入力後に［OK］をクリックしてください。



③保存場所

静止画像（キャプチャー）やバックアップ映像（バックアップ）の保存先を設定します。

④その他

- **自動再接続**：
  チェックボックスにチェックを入れると、ネットワークが一時的に切断した場合（NETWORK LOSS）に、約10秒間隔で自動的に再接続の動作をおこないます。
- **ステータス表示**：
  チェックボックスにチェックを入れると、ネットワークの通信ビットレートとフレームレートがメイン画面の情報表示部に表示されます。
- **Language**：
  表示言語を選択できます。
  （選択：英語、タイ語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、日本語）

メモ 設定を変更した場合は、本ソフトウェアを再起動してください。

- **日付の形式**：
  日時情報の表示パターンを選択できます。

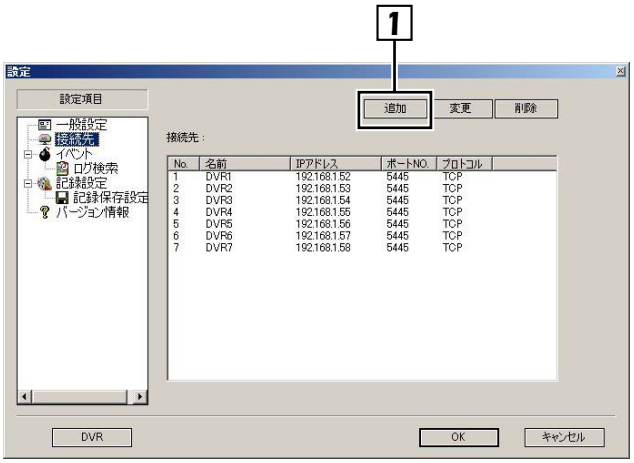
☞上の設定が終わったら、［OK］をクリックしてください。
設定内容が確定し、保存されます。

⑤DVR（リモートセットアップ）

パソコンからのネットワーク操作で、DVR本体のメニュー設定をおこなうことができます。
P60～P66をご覧ください。

B カメラ名称設定（接続先）

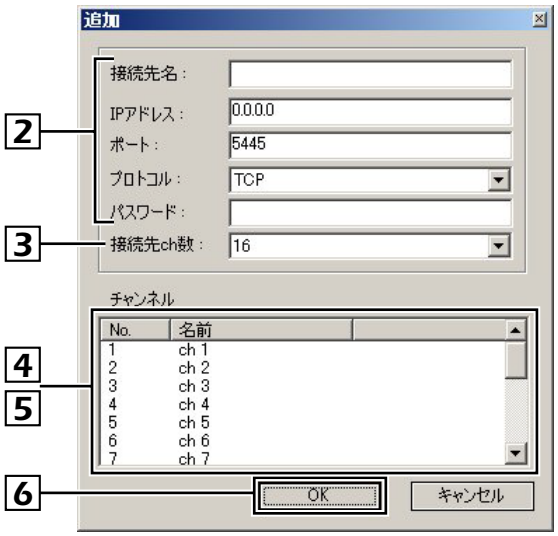
接続時に［接続］ダイアログで登録した接続情報が、［接続先］リストに一覧表示されます。
登録の追加、変更、削除や、チャンネル名の設定ができます。



■ DVRを追加登録する（追加）

1 **［追加］をクリックする**

［追加］ダイアログが表示されます。



2 **接続に必要なアドレス情報などを入力する**

入力方法は、接続時に表示される［接続］ダイアログと同様です。

- **接続先名**：DVRの管理名称
- **IPアドレス/ポート**：DVRに設定されているIPアドレスとポート番号
- **プロトコル**：TCP/UDP
- **パスワード**：DVRに設定されているネットワークパスワード

3 **［接続先ch数］でDVRのチャンネル数（4/9/16CH）を選択する**

4 **［チャンネル］リストでチャンネルをクリックし、ブルーの反転表示の状態で再度クリックする**

入力ボックスに切り換わります。

5 **チャンネル名称を入力する**

設定した名称は、カメラ映像などに表示されます。

同様の手順で、各チャンネルに名称を設定してください。

6 **［OK］をクリックする**

［追加］ダイアログを閉じ、［接続先］リストに追加されます。

■ 登録内容を変更する（変更）

1 **［接続先］リストで変更するサイトをクリックする**

選択したサイトの行がブルーの反転表示になります。

2 **［変更］をクリックする**

［変更］ダイアログが表示されます。

3 **ダイアログに表示されている登録内容を変更する**

4 **［OK］をクリックする**

［変更］ダイアログを閉じ、［接続先］リストが更新されます。

メモ 接続時にはチャンネル名称が設定されていません。チャンネル名称を設定する場合は、「登録内容の変更」の操作をしてください。

■ 登録を削除する（削除）

1 **［接続先］リストで削除するサイトをクリックする**

選択したサイトの行がブルーの反転表示になります。

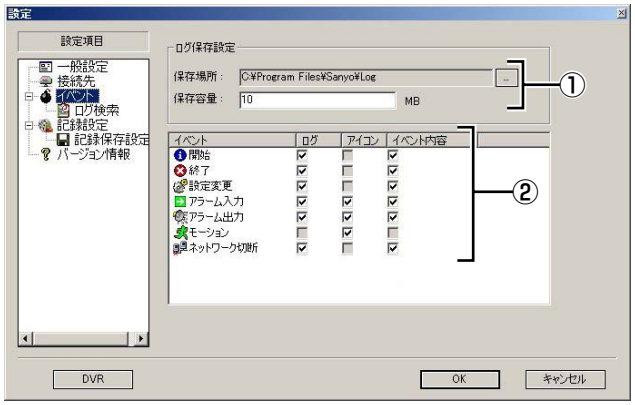
2 **［削除］をクリックする**

［削除］ダイアログを閉じ、［接続先］リストから削除されます。

☞以上の設定が終わったら、［OK］をクリックしてください。
設定内容が確定し、保存されます。

C イベント

イベントの管理方法を設定をします。



①ログ保存設定

イベントログの保存先と許可サイズを設定します。

②イベント

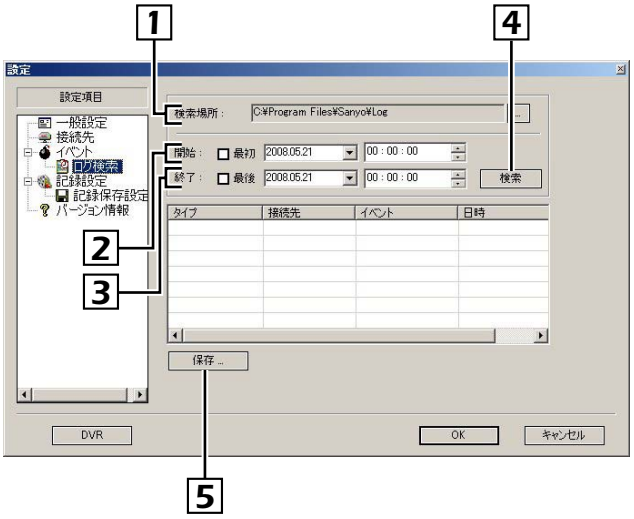
保存や表示の条件を、イベントごとにチェックボックスで設定してください。

- **ログ：**
  イベントログとして保存するかどうか
- **アイコン：**
  カメラ映像にアイコンを表示するかどうか
- **イベント内容：**
  メイン画面のログウィンドウに表示するかどうか

☞以上の設定が終わったら、[OK] をクリックしてください。
設定内容が確定し、保存されます。

D イベントログの検索、閲覧、保存（ログ検索）

イベント情報を検索したり、パソコンに保存することができます。



1 [検索場所] で検索するフォルダを指定する

2 [開始] に検索範囲の開始点日時を設定する

[最初] のチェックボックスにチェックを入れると、フォルダ内で最初の日時情報が自動設定されます。

3 [終了] に検索範囲の終了点日時を設定する

[最後] のチェックボックスにチェックを入れると、フォルダ内の最後の日時情報が自動設定されます。

4 [検索] をクリックする

指定した範囲のイベント情報がログリストに一覧表示されます。

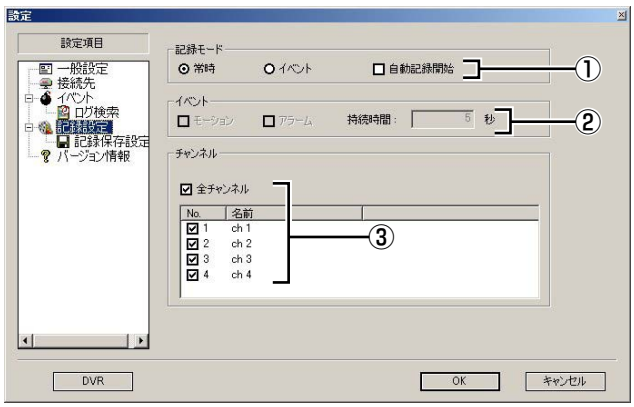
5 表示されているログリストをテキストで保存する場合は [保存] をクリックする

[検索場所]に表示されている保存先を変更する場合は、[フォルダの参照] ボタンをクリックして保存先を新たに指定してください。

☞以上の操作が終わったら、[OK] をクリックして画面を閉じてください。

E 記録設定

ネットワーク操作での録画条件を設定します。録画された映像は、パソコンのハードディスクに保存されます。



①記録モード

記録モードをラジオボタンで選択してください。

- **常時：**
  操作パネルの録画ボタンを入にすると録画をおこなう
- **イベント：**
  操作パネルの録画ボタンを入にすると録画待機の状態になり、指定のイベントが発生すると録画をおこなう

＜自動記録開始＞

チェックボックスにチェックを入れると、DVR Utility 2000Sを本機に接続したときに、操作パネルの録画ボタンが入の状態となり、選択した録画モードで自動的に録画をおこないます。

②イベント

[記録モード] を **“イベント”** に設定した場合は、以下の条件を設定してください。

＜イベントの種別＞

- **モーション：**
  本機側がモーション記録になったときに、パソコン側でも録画をおこなう
- **アラーム：**
  本機側が、外部アラーム記録かつアラーム出力があったときに、パソコン側で録画をおこなう

＜録画時間＞

- **持続時間（単位：秒）**

③チャンネル

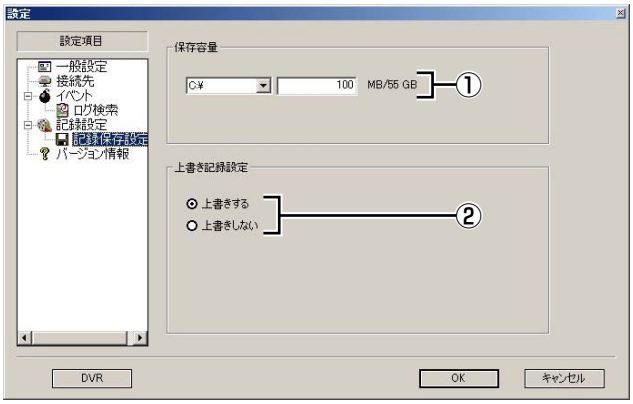
チェックボックスで、録画するカメラを指定してください。

メモ [全チャンネル] のチェックボックスを使うと、すべてのカメラにチェックを入れたり、外したりすることができます。

☞以上の設定が終わったら、[OK] をクリックしてください。
設定内容が確定し、保存されます。

F 記録保存設定

録画映像を保存するパソコンのドライブや容量などを設定してください。



①保存容量

保存に使用するドライブを選択して、許可容量（MB）を入力してください。

②上書き記録設定

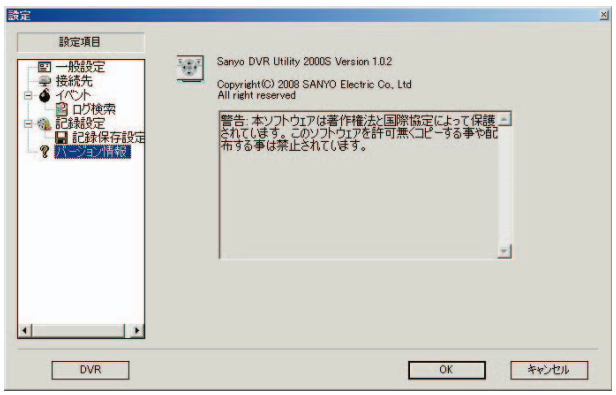
容量オーバーになった場合の録画動作をラジオボタンで選択してください。

- **上書きする：**
  古い映像から順に上書きして録画を続ける
- **上書きしない：**録画を停止する

☞以上の設定が終わったら、[OK] をクリックしてください。
設定内容が確定し、保存されます。

G バージョン情報

現在使用中のソフトウェアのバージョン情報などを確認できます。



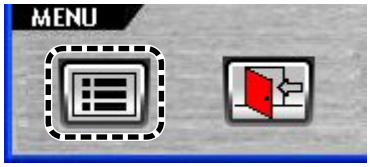
リモートセットアップ

パソコンからのネットワーク操作で、DVR本体のメニュー設定をおこなうことができます。

A リモートセットアップの操作手順

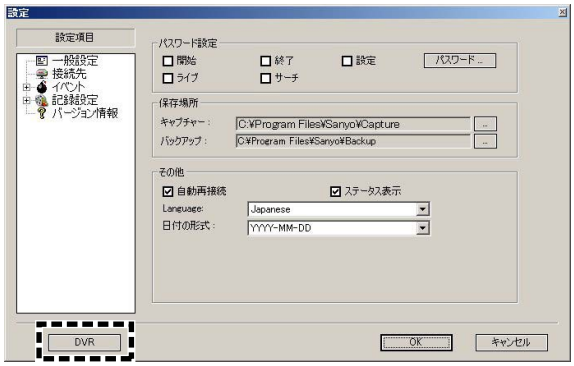
1 操作パネルのメニューボタンをクリックする

［設定］画面が表示されます。



2 画面左下の［DVR］をクリックする

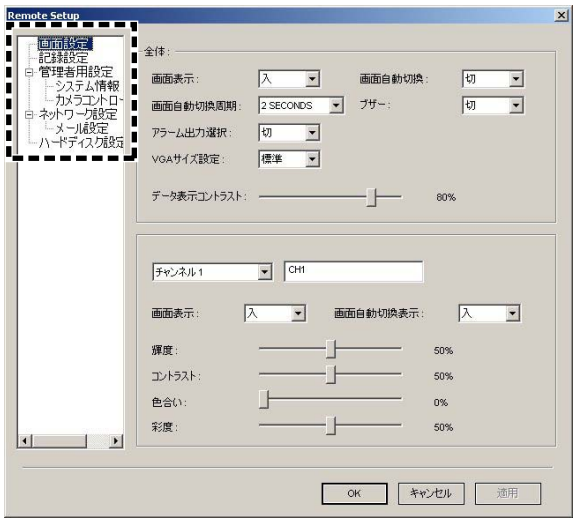
［Remote Setup］画面が表示されます。



メモ　DVRの機種によっては、リモートセットアップに対応しない場合があります。この場合は［DVR］ボタンを押すとエラーを表示します。

3 ツリーリストで設定メニューを選択しクリックする

指定のメニュー画面が表示されます。



4 画面のメニュー項目を設定する

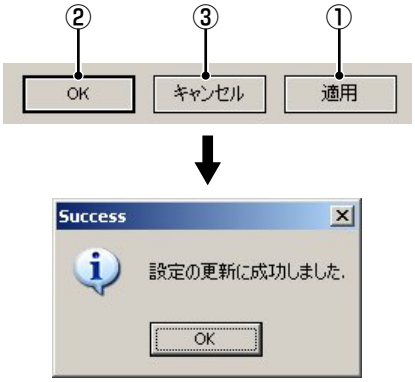
設定内容はDVR側のメニュー設定と基本的に同じです。

設定項目の詳細説明などは、該当ページをご参照ください。

5 ［適用］または［OK］をクリックする

［Success］ダイアログに **“設定の更新に成功しました。”** のメッセージが表示され、設定内容がDVR側に送信されます。

［OK］をクリックしてダイアログを閉じてください。



① ［適用］をクリックした場合：

［Success］ダイアログを閉じた後も［Remote Setup］画面は引き続き表示されます。

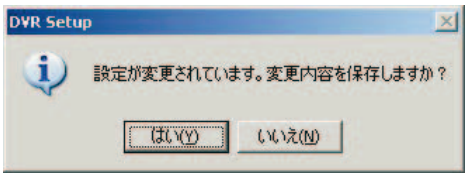
リモートセットアップの操作がすべて終了したら、［OK］をクリックして［Remote Setup］画面を閉じてください。

② ［OK］をクリックした場合：

［Success］ダイアログを閉じると、同時に［Remote Setup］画面も閉じます。

③ ［キャンセル］をクリックした場合：

画面の設定値が変更されている場合は、保存確認のダイアログが表示されます。



［いいえ］を選択すると、設定値を元に戻して［Remote Setup］画面を閉じます。

［はい］をクリックすると、［Success］タイアログに **“設定の更新に成功しました。”** のメッセージが表示され、設定内容がDVR側に送信されます。

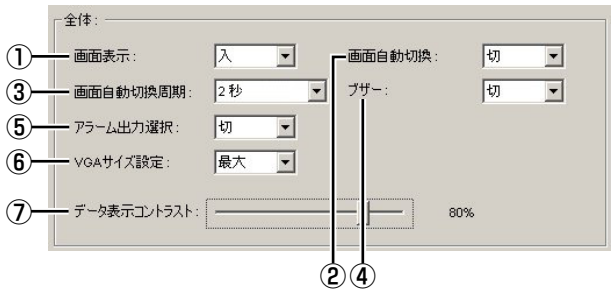
［OK］をクリックしてダイアログを閉じると［Remote Setup］画面も同時に閉じます。

B 画面設定

ライブ映像の表示条件などを設定します。

■ 共通設定（全体）

設定内容はすべてのチャンネルに適用されます。



①画面表示

日時やチャンネル番号を画面に表示するかどうかを設定します。

- **入**：表示する
- **切**：表示しない

②画面自動切換

自動切り換え表示の設定です。
1画面でチャンネル番号順に連続して表示します。

- **入**：自動切り換えで表示する
- **切**：自動切り換えで表示しない

③画面自動切換周期

自動切り換え表示の切り換え間隔（1～60秒）を設定します。

④ブザー

アラーム発生時の警告音の設定です。

- **入**：警告音を鳴らす
- **切**：警告音を鳴らさない

⑤アラーム出力選択

ライブ映像が途切れたりハードディスクにエラーが発生した場合の、アラーム信号の出力設定です。

- **切**：ライブ映像が途切れてもハードディスクエラーでもアラームを出力しない
- VIDEO LOSS：
  ライブ映像が途切れたときアラームを出力する
- HDDエラー：
  ハードディスクエラーのときにアラームを出力する
- ALL：ライブ映像が途切れたときやハードディスクエラーの場合にアラームを出力する

⑥VGAサイズ設定

VGA端子付きモニターを接続した場合の画面サイズの設定です。

- **最大**：モニター全体に表示する
- **標準**：周囲に一定の空間を空ける

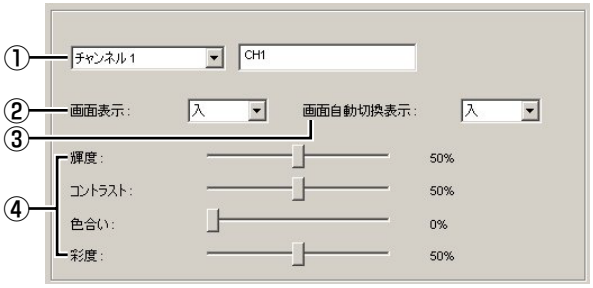
設定を変更した場合は、DVRが強制的に再起動します。

⑦データ表示コントラスト

画面上の文字のコントラストを調整します。

■ チャンネル別の設定

設定内容は指定のチャンネルにのみ適用されます。



①チャンネルの指定（チャンネル1～チャンネル4）

②画面表示

チャンネル映像をモニターに表示するかどうかを設定します。

- **入**：表示する
- **切**：表示しない

③画面自動切換表示

自動切り換え表示の場合に、チャンネル映像を表示するかどうかを設定します。

- **入**：表示する
- **切**：表示しない

④画像の調整

- **輝度**：明るさを調整します。
- **コントラスト**：コントラストを調整します。。
- **色合い**：色相を調整します。
- **彩度**：彩度を調整します。

C 記録設定

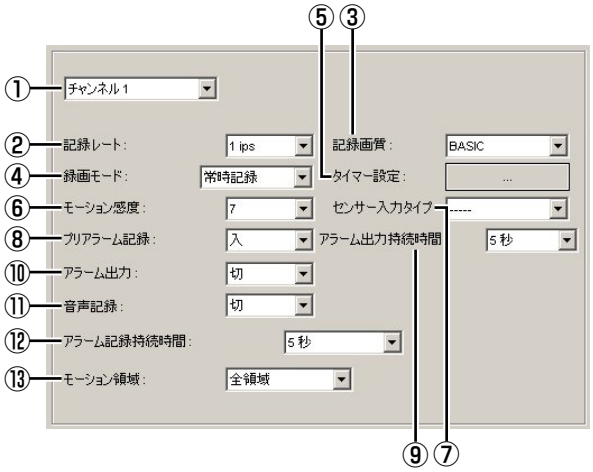
録画条件の設定です。

■ 解像度（すべてのチャンネル共通）

録画の解像度を設定します。
設定値はすべてのチャンネルに適用されます。

■ チャンネル別の設定

設定内容は指定のチャンネルにのみ適用されます。



①チャンネルの指定（チャンネル1～チャンネル4）

②記録レート

記録レートを設定します。（切、1～30 ips）

③記録画質

画質を3段階（BASIC/NORMAL/FINE）で設定します。

④録画モード

録画モードを設定します。

- **切**：録画しない
- **常時記録**：DVRの通電中は常時録画する
- **モーション記録**：
  本機内蔵のモーションセンサーが動きを検知したときに録画する
- **外部センサー記録**：
  本機の外部センサー端子（SENSOR）に接続したセンサー機器などが反応したときに録画する
- **タイマー記録**：指定した時間帯にタイマー録画する

⑤タイマー設定

[Schedule] 画面で、タイマー記録の動作スケジュールを設定します。（設定手順はP63参照）

⑥モーション感度

モーションセンサーの検知感度（1～9）を設定します。
数値が低いほど検知感度が高くなります。

⑦センサー入力タイプ

外部センサーからのアラーム入力の信号極性を設定します。

- **-----**：アラーム入力を検知しない
- **N/O（ノーマルオープン）**：
  通常はオープンの状態で、クローズしたら入力を検知する
- **N/C（ノーマルクローズ）**：
  通常はクローズの状態で、オープンしたら入力を検知する

⑧プリアラーム記録

プリアラーム録画の設定です。
内蔵モーションセンサーや外部センサー感知の発生の約5秒前から録画を開始します。

- **入**：プリアラーム録画を設定する
- **切**：プリアラーム録画を設定しない

⑨アラーム出力持続時間

アラーム信号の出力時間（1～60秒）を設定します。

⑩アラーム出力

アラームが発生したときのアラーム信号の出力設定です。

- **入**：アラーム信号を出力する
- **切**：アラーム信号を出力しない

⑪音声記録

音声記録を設定します。

- **入**：映像と一緒に音声を記録する
- **切**：音声を記録しない

⑫アラーム記録持続時間

アラームが発生したときの録画時間（2～30秒、1～5、10、15分）を設定します。

⑬モーション領域

モーションセンサーの検知領域を設定します。
“検出エリア”を選択した場合は、検知領域の設定が必要です。（設定手順はP63参照）

- **全領域**：画面全体で検知する
- **検出エリア**：検知領域を指定する

■ 検知領域の設定

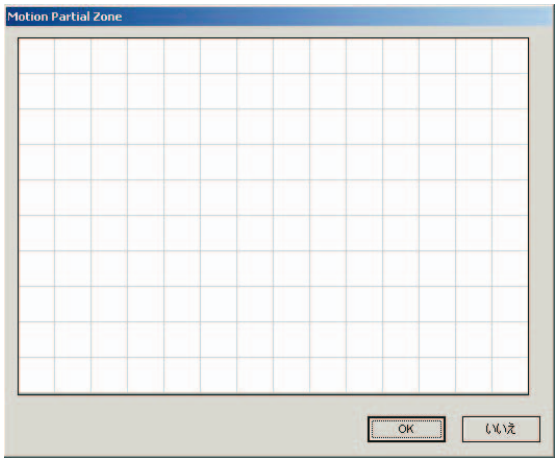
モーションセンサーの検知領域を設定します。

1 [モーション領域] を “検出エリア” に設定する

右側にボタンが表示されます。

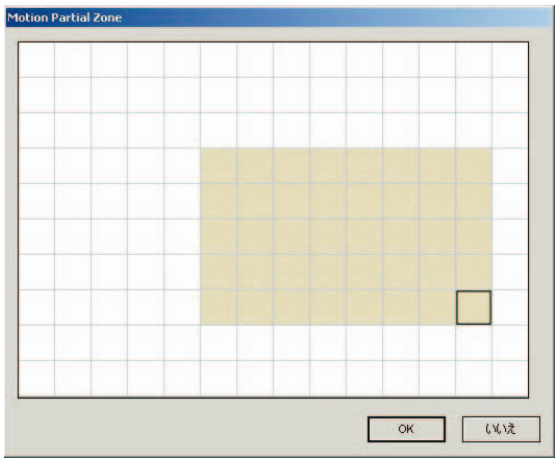
2 ボタンをクリックする

検知領域の設定画面が表示されます。



3 検知領域のマス目をクリック(あるいはドラッグ)する

指定の領域にセンサーが設定されます。



4 [OK] をクリックする

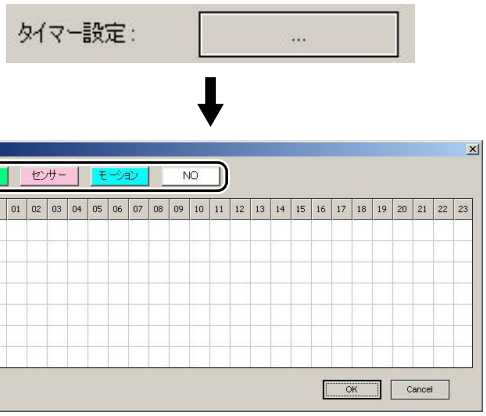
設定内容を保存し、検知領域の設定画面を閉じます。

■ タイマー記録設定

タイマー記録の動作スケジュールを設定します。

1 [タイマー設定] ボタンをクリックする

[Schedule] 画面が表示されます。

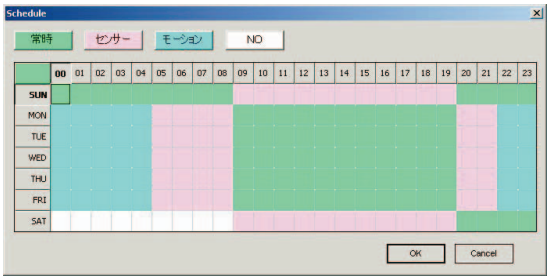


2 録画モードボタン①を選択しクリックする

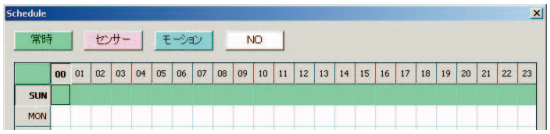
選択中の録画モードは、スケジュール表左上のコーナー②に色で表示されます。

3 曜日と時間帯を指定し、スケジュール表のマス目をクリック(あるいはドラッグ)する

指定した時間帯にタイマーが設定されます。
同様の手順で、複数の録画モードを組み合わせることができます。



メモ 曜日ボタンをクリックすると、選択中の録画モードが全時間帯(24時間)に設定されます。



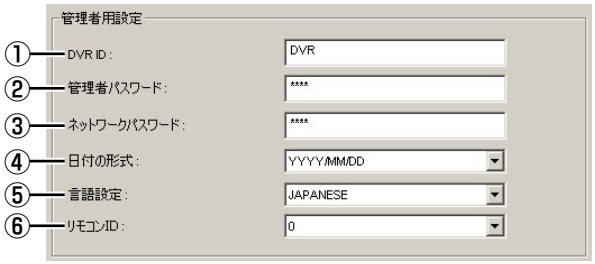
4 [OK] をクリックする

設定内容を保存し、[Schedule] 画面を閉じます。

D 管理者用設定

システムと時刻に関する設定です。

■ 管理者用設定



①DVR ID (P35)
DVRに個別の管理名称を設定します。

②管理者パスワード (P36)
DVR本体のメニュー設定用のパスワードです。

メモ 初期設定値は “1111” です。

③ネットワークパスワード (P37)
ネットワーク操作用のパスワードです。

メモ 初期設定値は “1111” です。

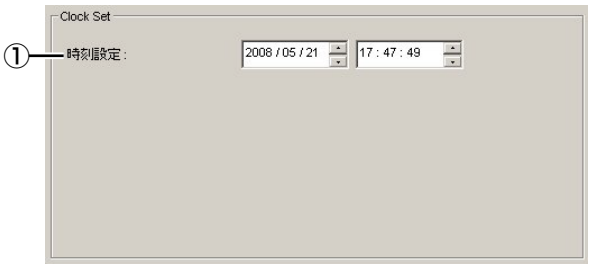
④日付の形式 (P13)
日付の表示形式を設定します。

⑤言語設定 (P15)
表示言語を設定します。

⑥リモコンID (P38)
付属のリモコンで操作する場合は、リモコンに認証用のID (1～9) を設定することができます。

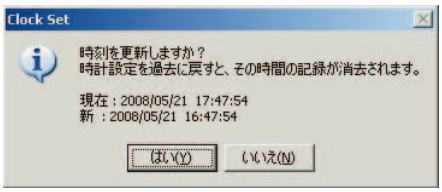
メモ 初期値 (0) に設定しておくと、ID番号に関係なくリモコン操作ができます。

■ Clock Set



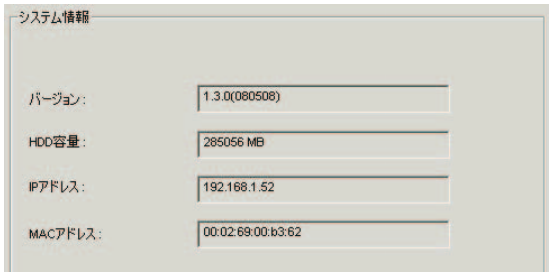
①時刻設定 (P13)
現在の日付と時刻を設定します。

メモ 日付や時刻の設定を変更した場合は、画面の [適用] (または [OK]) をクリックしたときに確認ダイアログが表示されます。
ダイアログのメッセージを確認して [はい] をクリックすると、DVRが再起動し設定日時が更新されます。



E システム情報

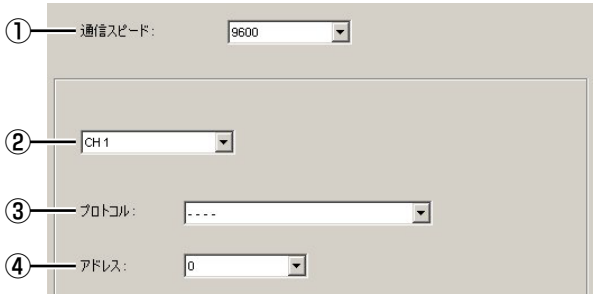
管理者用設定のサブメニューです。
DVRのバージョン情報などを確認できます。



- **バージョン**：ファームウェアのバージョン
- **HDD容量**：ハードディスクの容量
- **IPアドレス**
- **MACアドレス**

F カメラコントロール設定

管理者用設定のサブメニューです。
RS422/485端子にPTZカメラを接続してカメラを遠隔操作する場合は、通信条件などを設定します。



①通信スピード

通信速度を設定します。
設定値はすべてのチャンネルに適用されます。

②チャンネルの指定（CH1～CH4）

③プロトコル

指定のチャンネルのプロトコルタイプを設定します。

複数台のカメラを接続する場合は、すべて同じプロトコルを設定してください。

④アドレス

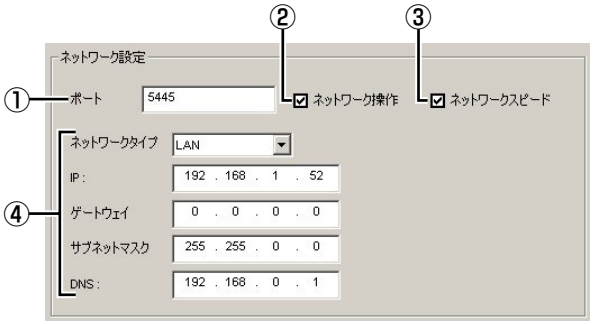
カメラID（0～63）を設定します。

G ネットワーク設定

DVRのネットワーク情報を設定します。

本画面の設定を変更した場合は、DVRが強制的に再起動します。

■ Network設定



①ポート

複数台のDVRをネットワークに接続する場合は、それぞれ固有のポート番号を設定してください。

②ネットワーク操作

ネットワーク操作をおこなう場合は、チェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。

③ネットワークスピード

ネットワークの帯域を制限する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

④アドレスの設定

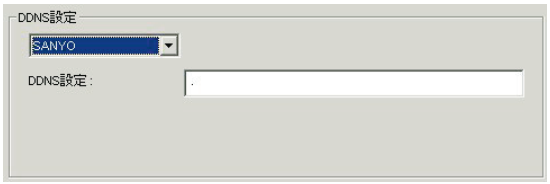
選択した［ネットワークタイプ］に応じて、必要な情報を入力します。

- **“LAN”を選択した場合：**
  手動設定モードです。
  IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNSサーバーアドレスを入力してください。
- **“DHCP”を選択した場合：**
  自動設定モードです。
  アドレスなどの設定は必要ありません。

- **“ADSL”を選択した場合：**
  ログイン用のIDとパスワードを入力してください。

■ DDNS設定

当社のDDNSサービスをご利用になる場合は、“SANYO”を選択し、登録したドメイン名を入力してください。



メモ
- ドメイン名の登録のしかたは、P41をご参照ください。
- 他社のDDNSサービスをご利用になる場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの「修理相談窓口」にご相談ください。

H メール設定

ネットワーク設定のサブメニューです。
アラームが発生したときなどに、指定のアドレスに通知メールを自動送信します。

本画面の設定を変更した場合は、DVRが強制的に再起動します。

①IPアドレス通知
DVRのIPアドレスが変更されたときに通知メールを送信する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

②アラーム通知
アラームイベントの種類によって送信条件を絞り込むことができます。

- **切（初期設定）**
  アラームが発生しても通知メールを送信しない
- **外部センサー記録**
  本機の外部センサー端子（SENSOR）に接続したセンサー機器などが反応したときに通知メールを送信する
- **モーション記録**
  本機内蔵のモーションセンサーが動きを検知したときに通知メールを送信する
- **All**
  外部センサーまたは内蔵モーションセンサーのいずれかが反応すると通知メールを送信する

③送信先設定
送信先のアドレスを入力します。

④メールサーバーの設定
SMTPサーバーのサーバー名、ユーザーID、パスワードを入力してください。

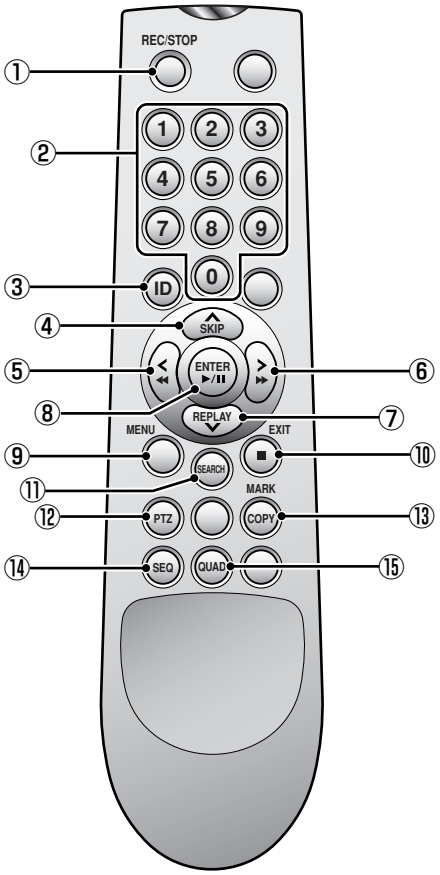
⑤送信元設定
送信先に通知する送信元のメールアドレスを設定します。

I ハードディスク設定

ハードディスクの上書き記録を設定します。
容量オーバーになったときに上書きモードで録画を続ける場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。

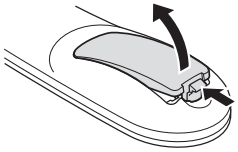
リモコンの各部のなまえと働き

リモコン用の電池は付属されていません。市販の単4形乾電池を2本ご用意ください。
（充電池は電圧が低いため使用できません。）

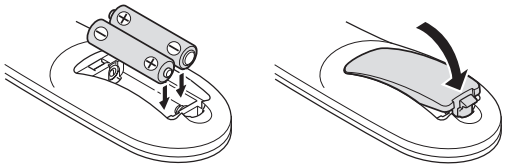


■ リモコンに電池を入れる

1 電池カバーをはずす

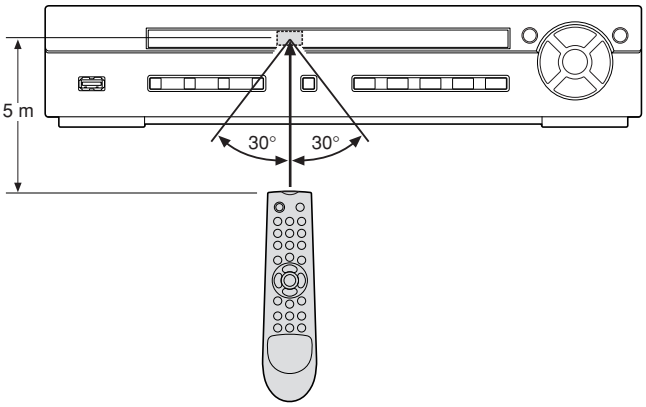


2 電池をセットしてカバーを取り付ける



☞電池の向きにご注意ください。

■ 操作範囲



①REC/STOPボタン
モニター中のライブ映像の録画や停止をさせます。

②数字ボタン
パスワードやカメラ番号、ID番号などを入力します。

③IDボタン
リモコンのID番号を設定した場合、入力前に押します。
(P38)

④ ∧/SKIPボタン
設定中：カーソルを上に動かします。
再生中：１分先の映像にスキップします。

⑤ ❮/◀◀ボタン
設定中：カーソルを左に動かします。
再生中：早戻しします。

⑥ ❯/▶▶ボタン
設定中：カーソルを右に動かします。
再生中：早送りします。

⑦REPLAY/∨ボタン
設定中：カーソルを下に動かします。
再生中：１分前の映像にスキップします。

⑧ENTER/▶/IIボタン
設定中：選択した項目を決定します。
検索中：選んだ映像を再生します。
再生中：静止画を表示します。

⑨MENUボタン
設定メニュー画面を表示します（メニュー）。

⑩EXITボタン（■）
設定モードやメニュー画面から抜けられます（終了/再生停止）。

⑪SEARCHボタン
録画した映像を検索するモードになります（サーチ）。

⑫PTZボタン
RS422/485端子に接続したカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカスを操作するカメラコントロールモードになります。

⑬MARK・COPYボタン
映像を保存するモードになります（コピー）。

⑭SEQボタン
接続中のカメラ映像を自動切り換えにします（カメラ自動切換）。

⑮QUADボタン
4画面になります（4画面表示）。

記録時間一覧表

（250GBのハードディスクの場合）

記録レート（ips）		画質 / 解像度	録画時間					
			BASIC		NORMAL		FINE	
1～4chの各設定値	TOTAL		Min	Max	Min	Max	Min	Max
1	4	FULL	284H	873H	241H	742H	172H	530H
2	8		142H	786H	121H	668H	86H	477H
3	12		101H	727H	86H	618H	61H	442H
4	16		80H	681H	68H	579H	49H	414H
5	20		67H	643H	57H	547H	41H	391H
6	24		58H	611H	50H	520H	36H	371H
7	28		52H	583H	44H	496H	32H	354H
1	4	QUAD	729H	2244H	620H	1908H	443H	1363H
2	8		365H	1683H	310H	1431H	221H	1022H
3	12		260H	1402H	221H	1192H	158H	851H
4	16		207H	1218H	176H	1035H	125H	739H
5	20		173H	1085H	147H	922H	105H	659H
6	24		150H	983H	128H	835H	91H	597H
7	28		133H	902H	113H	767H	81H	548H
8	32		120H	836H	102H	711H	73H	508H
9	36		110H	781H	94H	664H	67H	474H
10	40		102H	734H	86H	624H	62H	446H
11	44		95H	693H	80H	589H	57H	421H
12	48		89H	658H	75H	559H	54H	400H
13	52		83H	627H	71H	533H	51H	381H
14	56		79H	599H	67H	509H	48H	364H
15	60		75H	574H	64H	488H	46H	349H
16	64		72H	552H	61H	469H	43H	335H
17	68		68H	532H	58H	452H	42H	323H
18	72		66H	513H	56H	436H	40H	312H
19	76		63H	496H	54H	422H	38H	301H
20	80		61H	481H	52H	409H	37H	292H
21	84		59H	466H	50H	396H	36H	283H
22	88		57H	453H	48H	385H	34H	275H
23	92		55H	441H	47H	374H	33H	267H
24	96		53H	429H	45H	365H	32H	260H
25	100		52H	418H	44H	355H	31H	254H
26	104		50H	408H	43H	347H	31H	248H
27	108		49H	398H	42H	339H	30H	242H
28	112		48H	389H	41H	331H	29H	236H
29	116		47H	381H	40H	324H	28H	231H
30	120		45H	373H	39H	317H	28H	226H

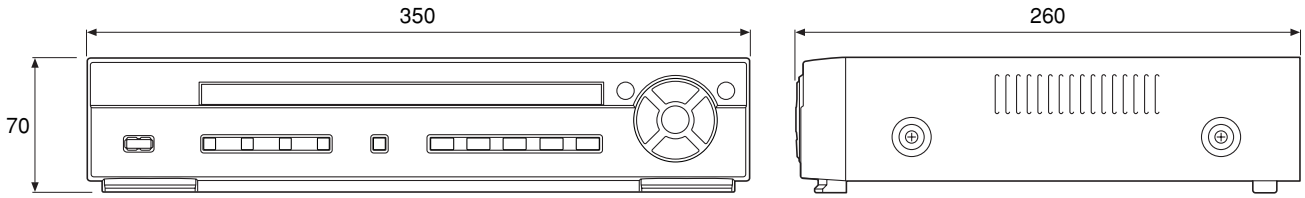
※上の表は参考例であり、監視環境によって異なります。
記録時間を保証するものではありませんので、事前に記録して確認頂く事をお勧めいたします。

仕様

信号方式		NTSC方式準拠 ●30 ips（1画面）、120 ips（4画面）
圧縮方式		映像：MPEG4　音声：G.711
画素数		720×480
ライブ表示	速度	30 ips/120 ips
	解像度	704×480 (1画面)、352×240 (4画面)
	分割画面	1画面/4画面
録画	録画速度	最大120 ips
	解像度	704×480 (1画面)、352×240 (4画面)
	録画方法	リアルタイム録画/常時記録/モーション記録/外部センサー録画/タイマー記録
	画質	3段階 (BASIC/NORMAL/FINE)
ハードディスク		250GB（3.5インチ搭載時で最大540GB）
映像入力端子		1.0V(p-p) 75Ω BNC×4
映像出力端子		選択可能　BNC（初期値）×1/ VGA×1
音声入力端子		RCA×4
音声出力端子		RCA×1
外部アラーム入力端子		無電圧メイク接点 ×4 (P20参照)
アラーム出力端子		リレー(DC30V MAX. 1A / AC125V MAX. 0.5A) ×1 (P20参照)
ネットワーク端子		インターフェース：RJ-45（10Base-T/100Base-TX） プロトコル：TCP/IP、DHCP ソフトウェア：DVR Utility 2000S
インターフェース		RS422/RS485　4ピンコネクター
フロントUSB端子		1USB（USB2.0のみ）、バックアップ（USBメモリのみ）
リモートコントロール		IRリモコン　9台までコントロール可能
電源電圧		DC 12V
消費電力		約25W
可能周囲温度		動作：5℃～40℃、保管：－10℃～＋50℃
可能周囲湿度		0～90%
外形寸法		350 (W) × 70 (H) × 260 (D) mm（突起物を含まず）
質量		3.2kg

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

■外形寸法図（単位：mm）



■DVR ID入力表示一覧

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	[	＼	]	^	_	`	a	b	c	d	e	f	g	h
i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|
}	～	!	“	#	$	%	&	´	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2
3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	@						

故障かな？と思われたとき

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントからはずれている	確実にコンセントに差し込む
モニタに映像が出ない	接続がまちがっている	正しく接続する
	周辺機器やモニタの電源が入っていない	電源を入れる
	VGAのスイッチの設定がまちがっている	スイッチを正しく設定する
操作ボタンを押しても動作しない	メニュー画面表示中	メニュー設定を終了する
記録できない	記録領域が一杯になっている	記録領域のデータを削除する
	上書き記録を「切」に設定している	メニューの上書き記録の設定で「入」に設定する
タイマー記録ができない	日付・時刻がまちがっている	日付・時刻を正しく設定する
	タイマー記録設定が正しくない	タイマー記録の設定を正しくやり直す
モーション記録または 外部センサー録画ができない	録画設定が正しくない	録画設定を正しくやり直す
日付と時刻が表示しない	操作表示部の表示を消している	画面設定の画面表示を正しくやり直す

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。
また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

もし、まったく動作しなくなったときは、次の手順で確認してください。

① 電源を入切する。
② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたします。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店（または工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機（フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■補修用性能部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8年保有しています。
なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。

① 故障の状況（できるだけくわしく）

② 品名と品番
（ハードディスクデジタルレコーダー VDH-M4040）

③ お買い上げ年月日（保証書に記入）

④ 製造番号（保証書に記入）

⑤ お名前、おところ、電話番号

メモ

メモ

修理相談窓口 三洋電機サービス株式会社

受付時間：月曜日～金曜日　9:00～18:30（7月～8月　8:45～19:30）
土曜・日曜・祝日・当社休日　9:00～17:30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください。修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります。

◆東コールセンター

関東・甲信越地区	☎（050）3116-2222 ☎ 東京（03）5302-3401
北海道地区	☎（050）3116-2333
東北地区	☎（050）3116-2444

◆西コールセンター

近畿・北陸・四国地区	☎（050）3116-2555 ☎ 大阪（06）4250-8400
中部地区	☎（050）3116-2666
中国地区	☎（050）3116-2777
九州地区	☎（050）3116-2888

沖縄地区	☎（098）944-5018

受付時間：月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）
9:00～17:30

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、
ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせなどのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	（　　）　ー

三洋電機販売株式会社
営業本部
企画統括部　システム商品企画部
〒110-8534　東京都台東区上野1丁目1番10号　☎ 東京（03）6364-3463

三洋電機株式会社
デジタルシステムカンパニー
ＤＩ事業部　ＤＳ商品部
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号　☎ 大東（072）870-6277

1AC6P1P3356--
L8HBN/JP (0708KR-LD)